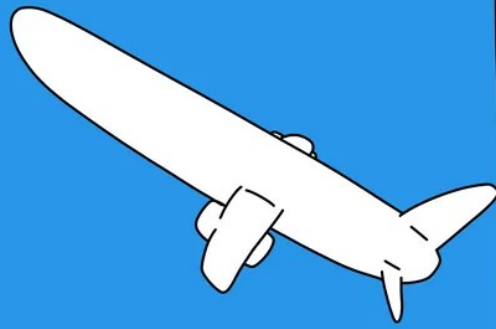


春、
僕が大学へ入学すると同時に、
父さんと母さんは
海外に行くことになった。



「大学生のうちに一人暮らしを
経験しておくといい」と父さんに
言われ、
今、実家には僕一人の状態だ。

父さんは今まで働いていた
会社と繋がりがあ
る海外の会社で働くことになり、

母さんは、父さんの
身の回りの世話を
するそうだ。

今まで
僕と父さんと母さんの
3人で住んでいた家が、

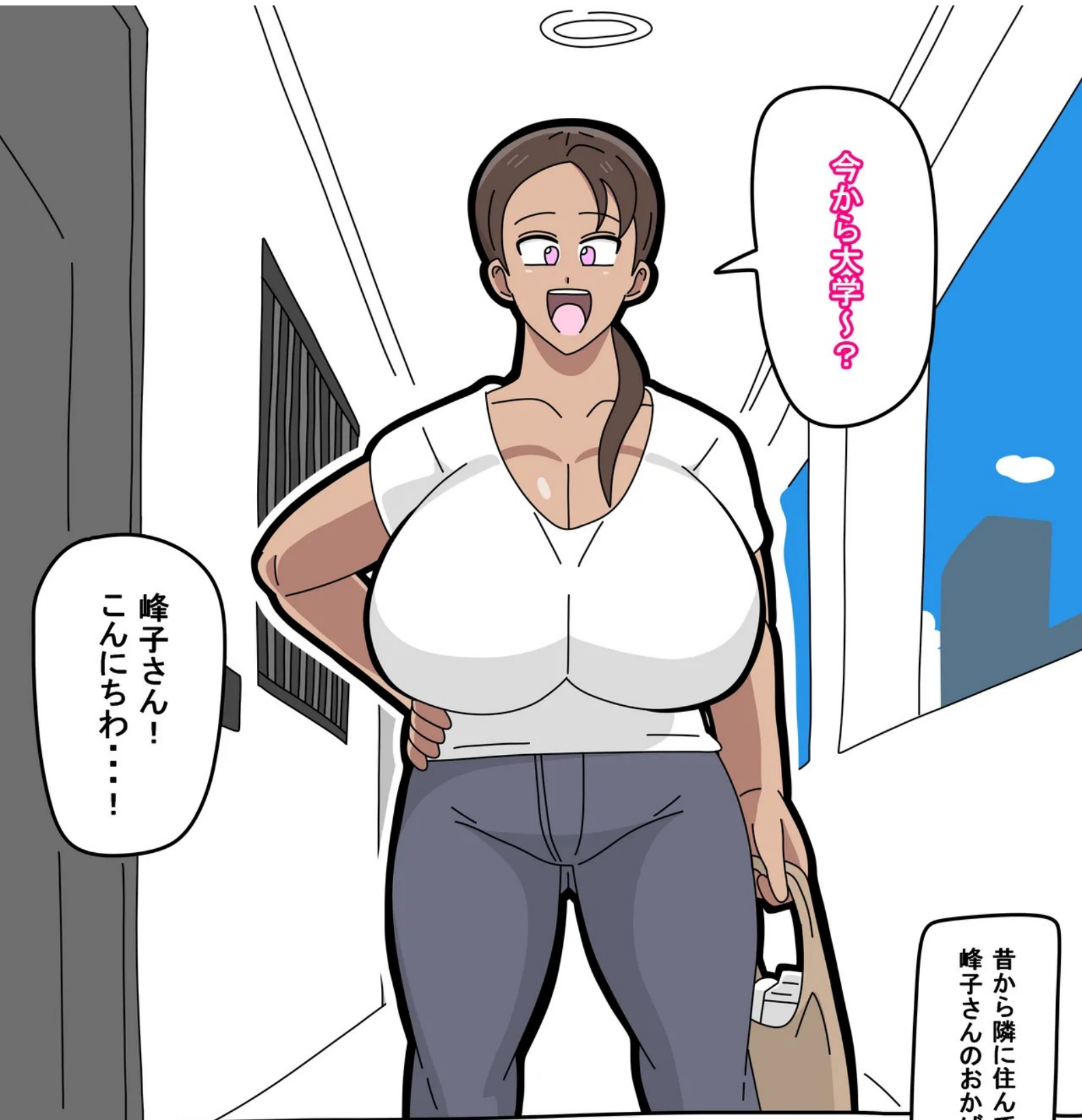
僕一人になり、
寂しさを感じると
思っていたけれど、
全くそんなことはなかった……。

〇〇〇

///

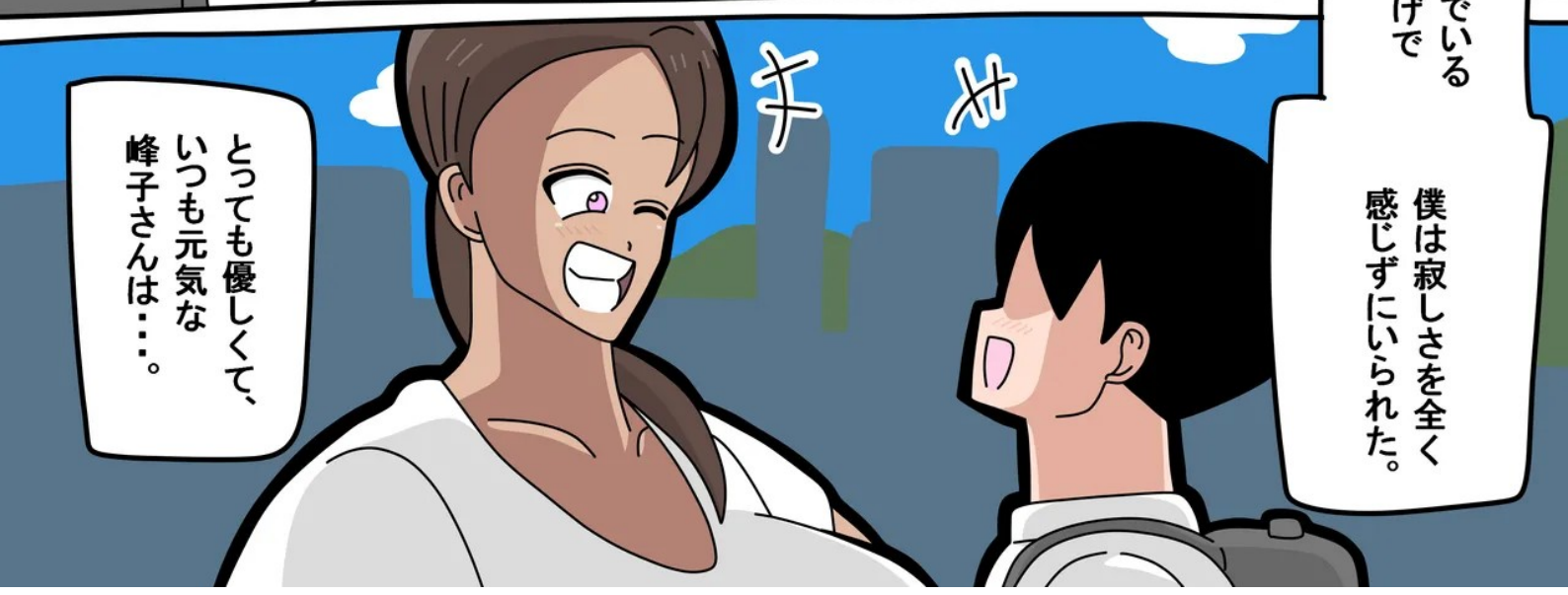
なぜなら……。





昔から隣に住んでいる
峰子さんのおかげで

僕は寂しさを全く
感じずにいられた。



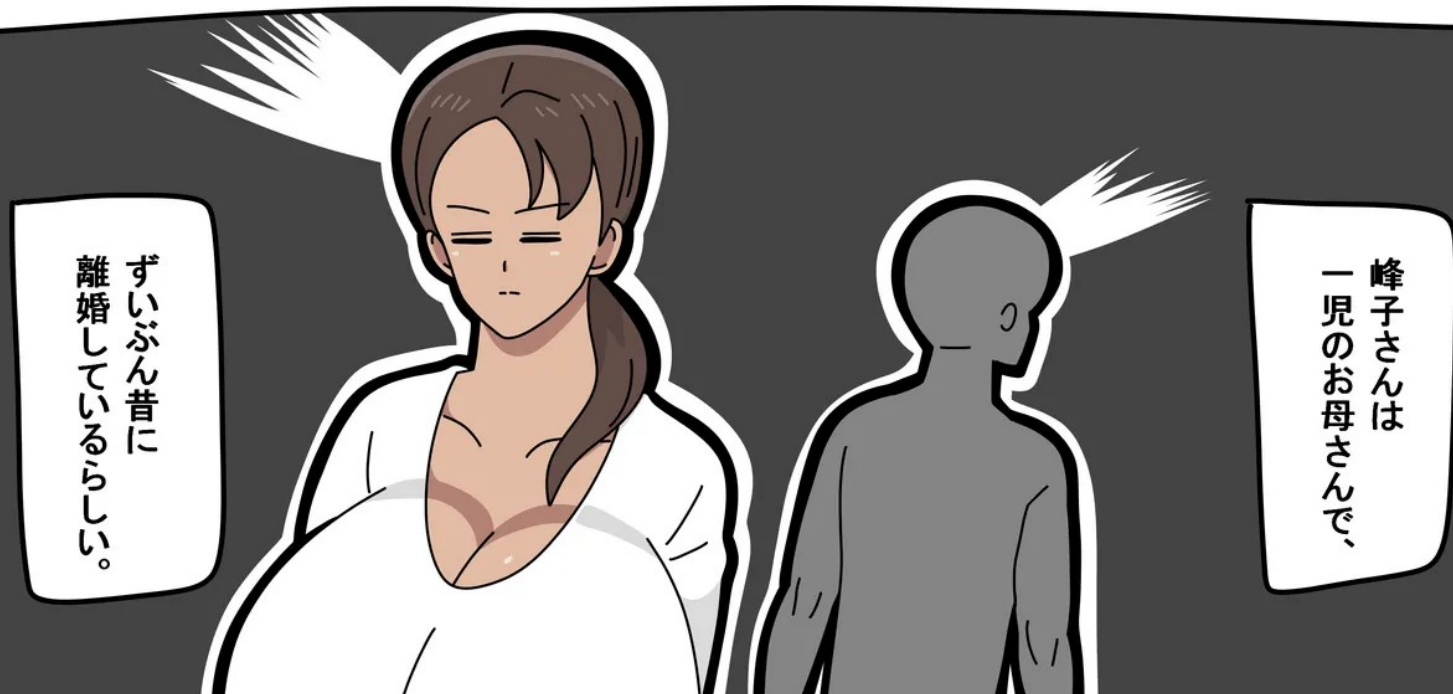
とっても優しく、
いつも元気な
峰子さんは……



思いをよせている
人でもある。

はっはっはっ

僕がずっと



ずいぶん昔に
離婚しているらしい。

峰子さんは
一児のお母さんで、



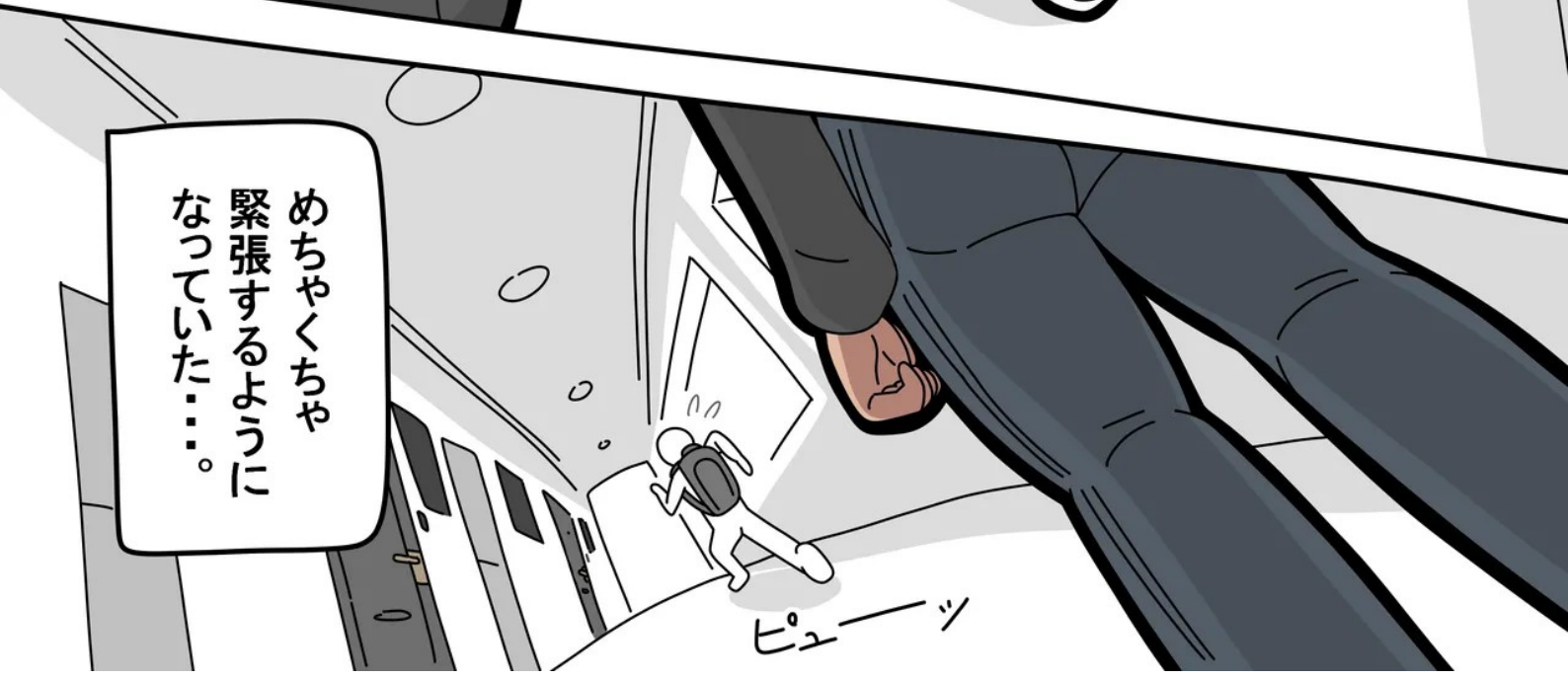




おはよう
〇〇〇

そして告白しようか
悩みはじめた日から、
僕は峰子さんに会ったび…

おおおはようよう
ございままます…
みみみ峰子さん…



めちやくちや
緊張するようにな
っていた…。

ビュ—ッ

そんな
ある日の
ことだった…。

早く告白しないと…
でも、嫌われたら…

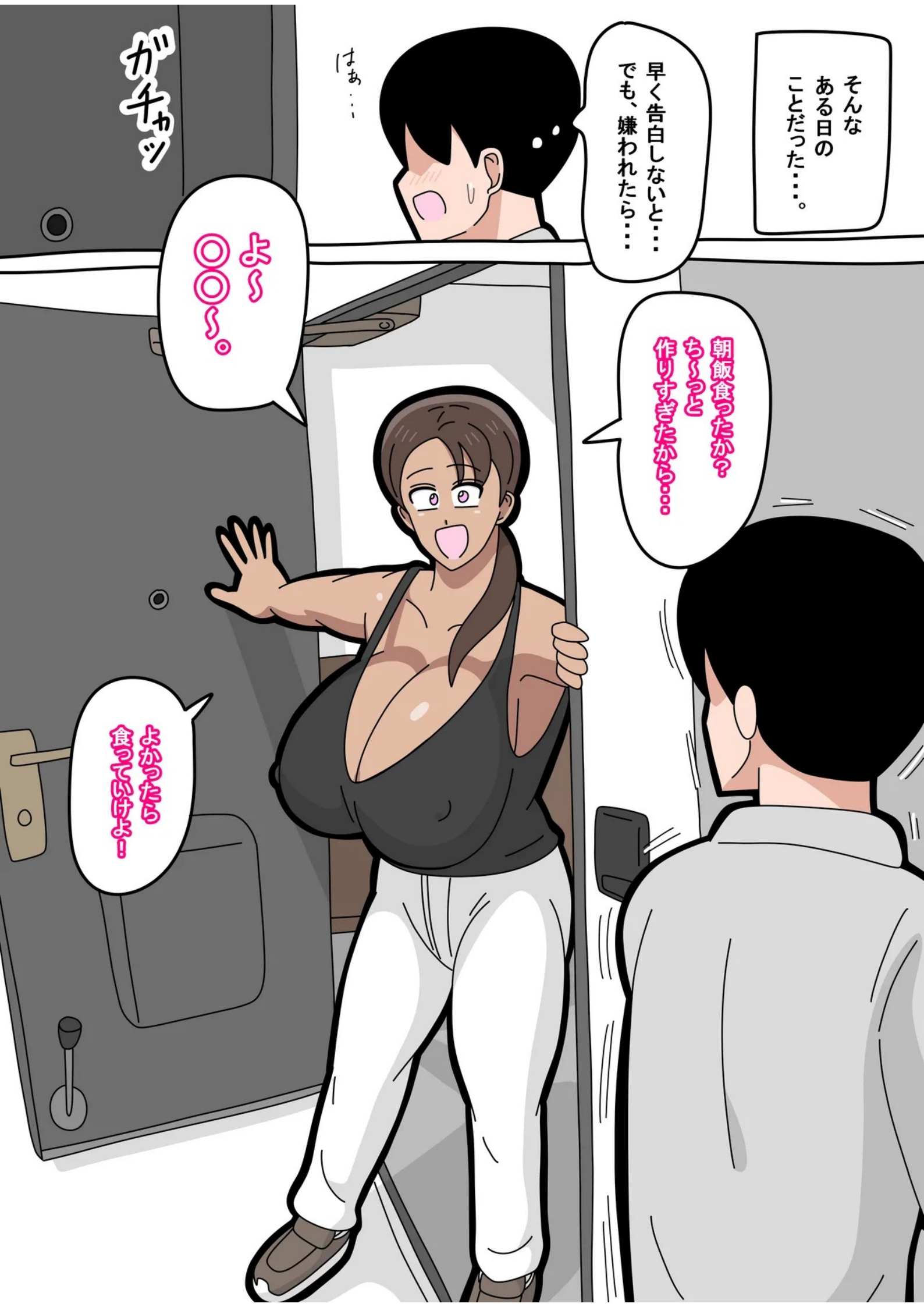
はあ…

が
チャ
ッ

よ
っ
っ
っ

朝飯食ったか？
ちゅと
作りすぎたから…

よかつたら
食ってけよ！





ノーブラ

峰子さんの
乳首



やばいやばいやばい……ッ！
めちゃくちや
勃起してる……ッ！

このままじゃ
立てない……ッ！
ど、どうすれば……

○○？！
急にどうした？
どうが具合でも
悪いのか？！

そうだ……！

その…
お腹が
減っちゃって…

(さっき食べた
ばかりだけど……)

そ、そうか…
じゃあウチで
食ってあげよ！

急な事の
流れとはいえ…。



洗って
整頓されてる
食器類

きれいに
畳まれた
洗濯物

一本も髪の毛が
落ちてない
清潔な部屋

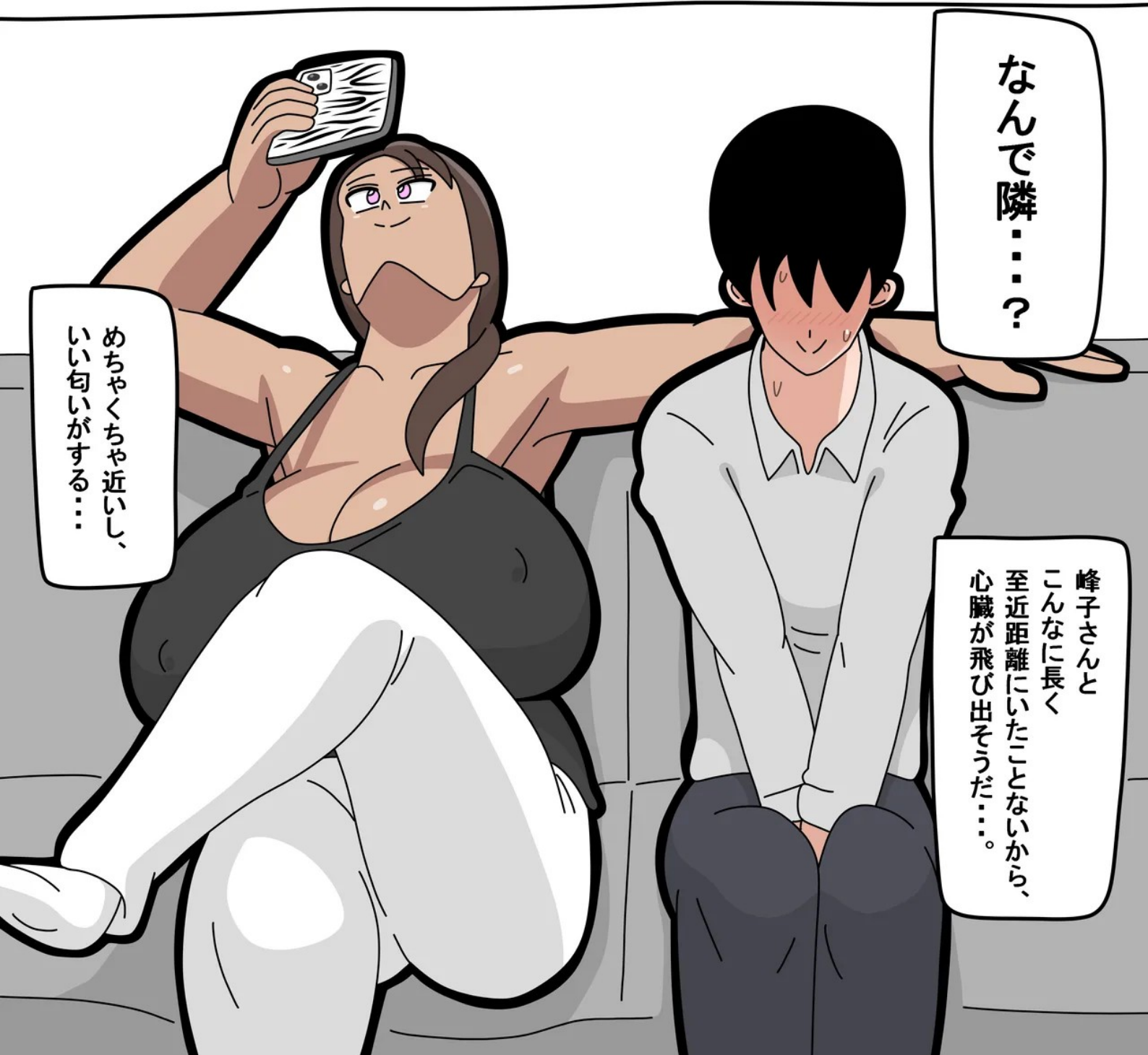
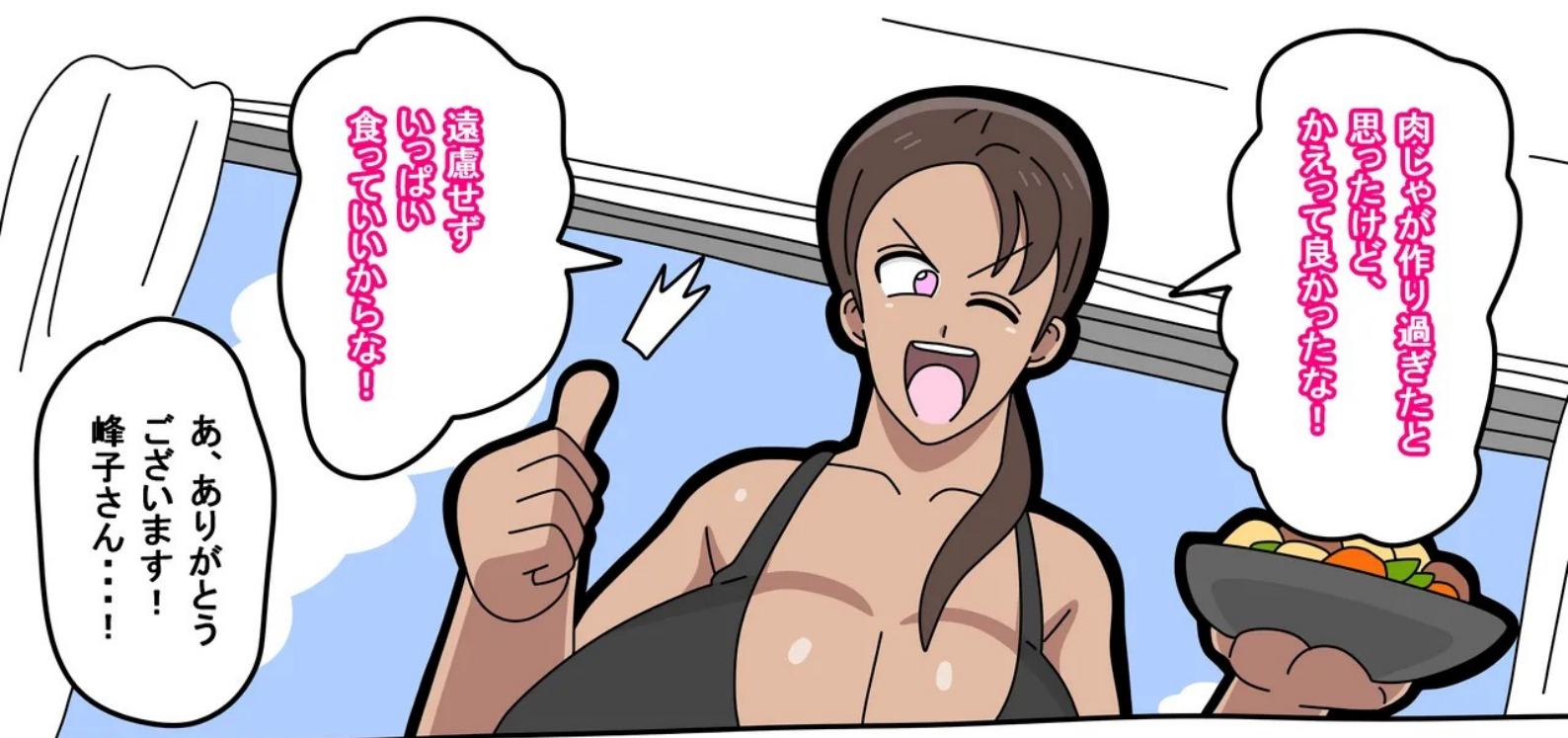
はじめて
峰子さんの
家に入った……。

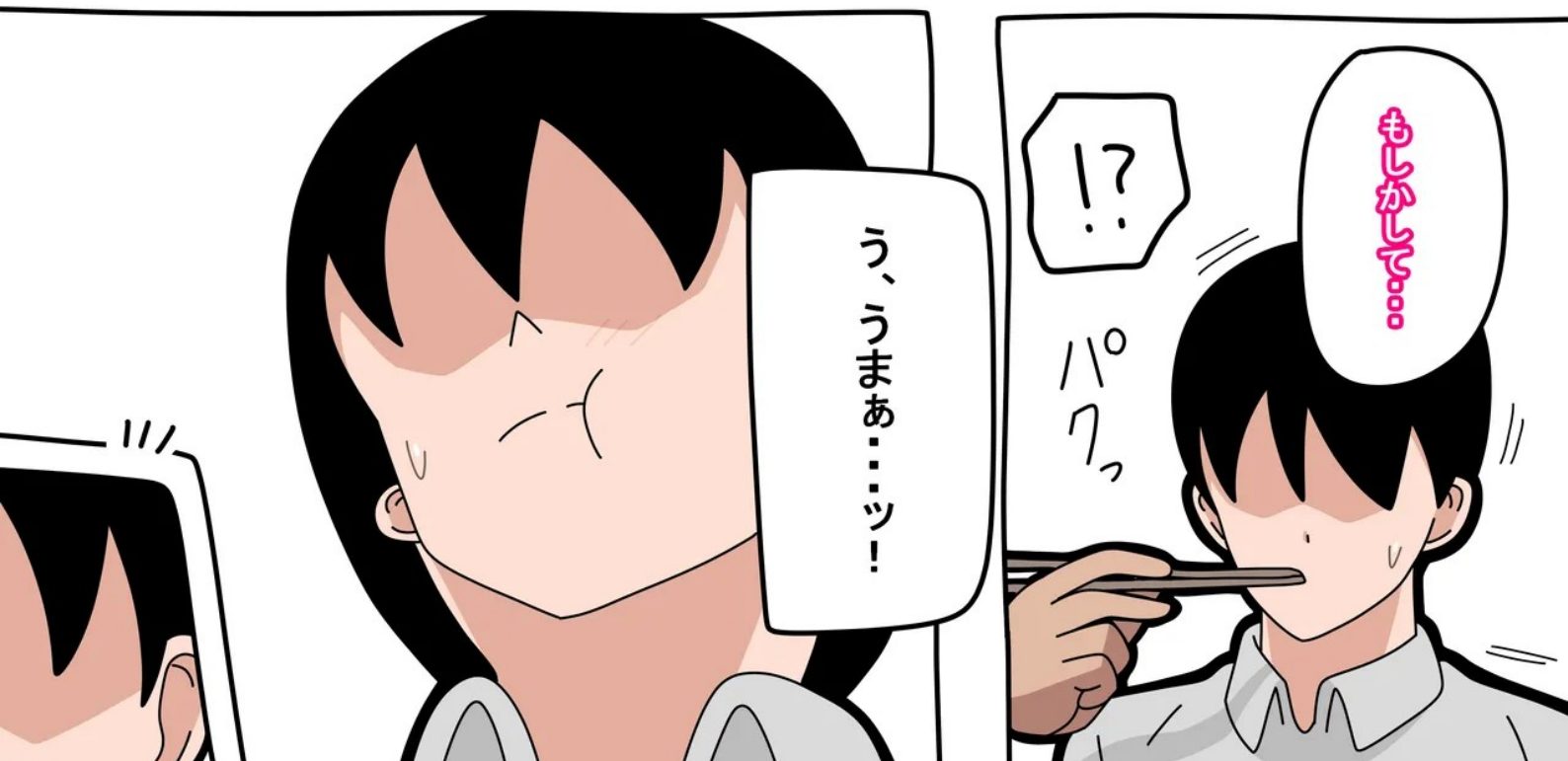
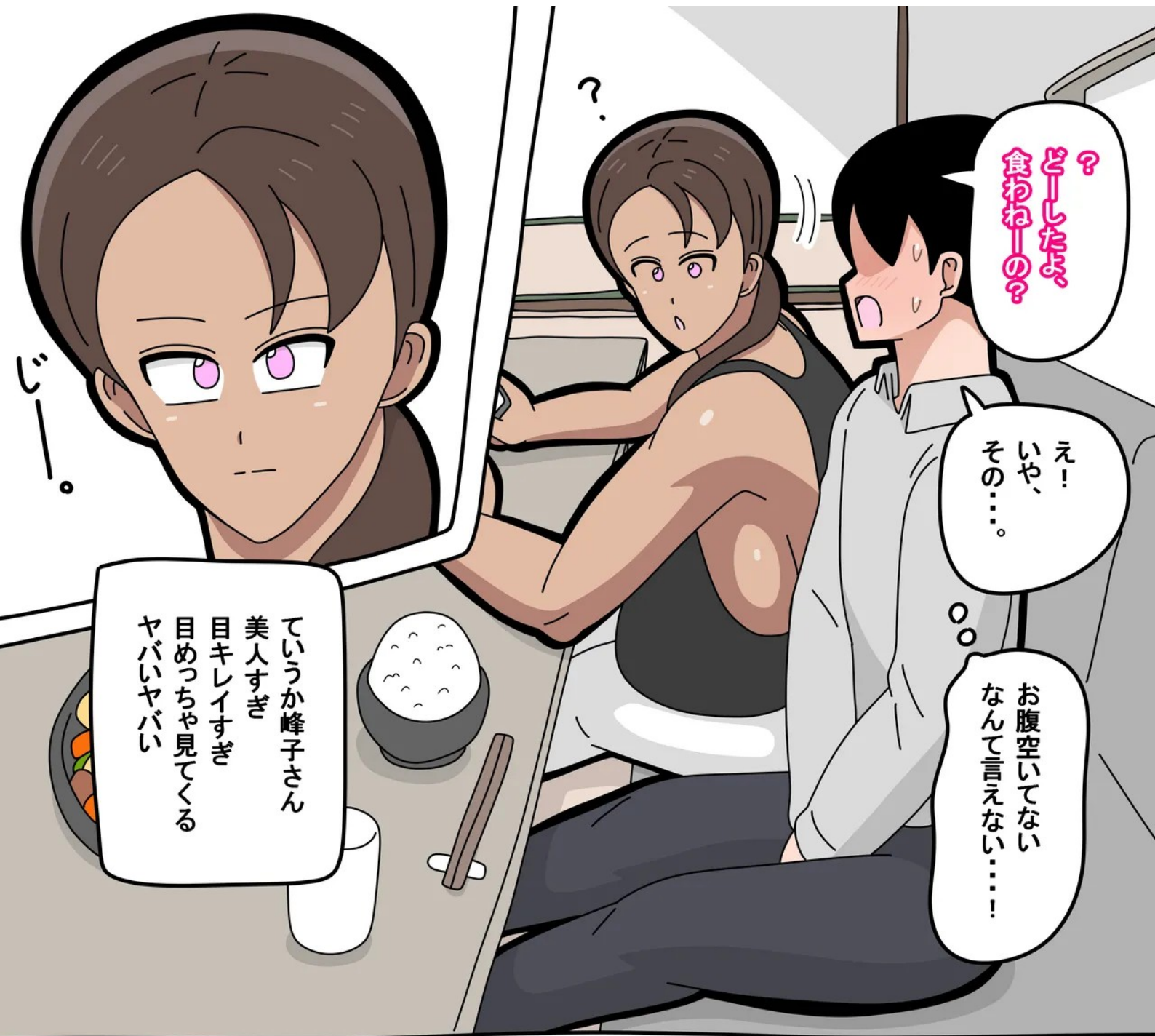
娘さんも今
大学生なんだっけ……
一人暮らししてるのかな？

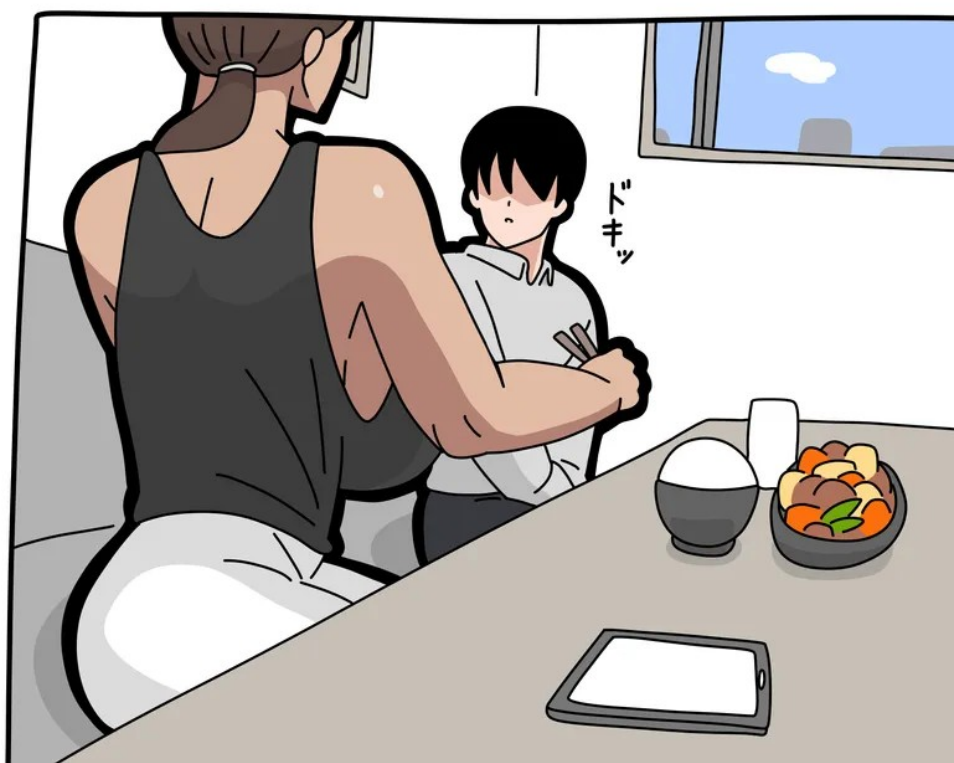


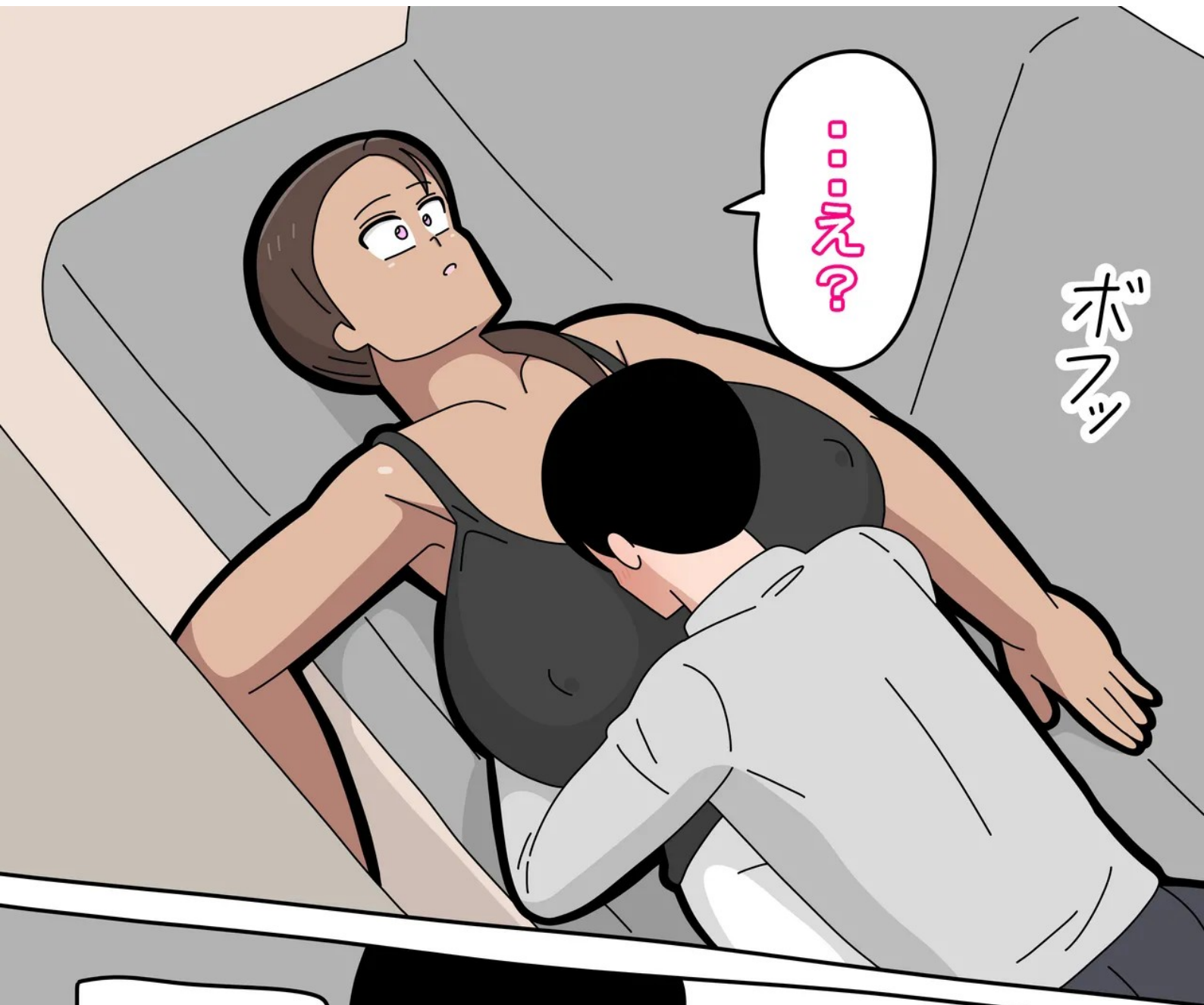
キョ

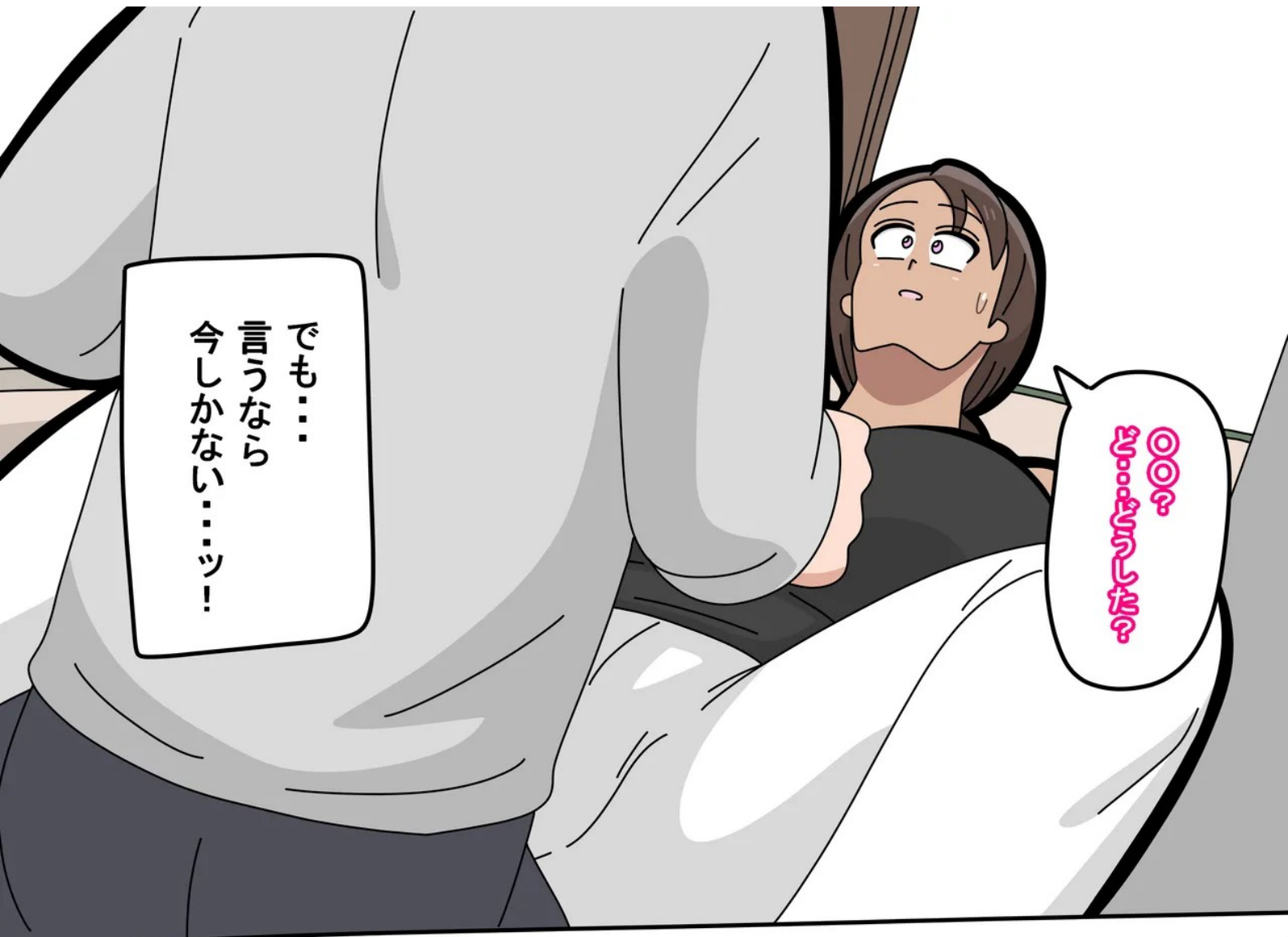
キョ





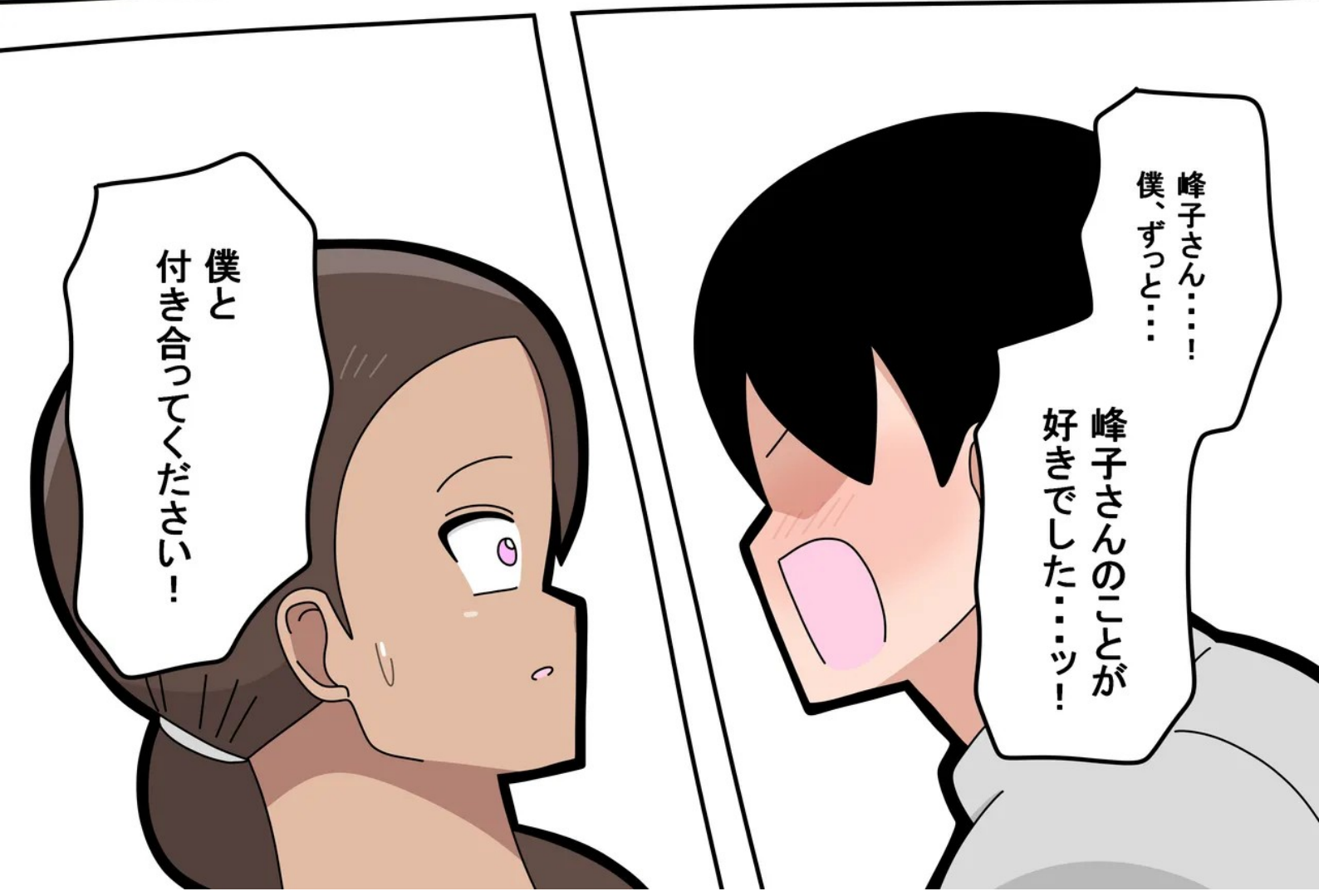






でも…
言うなら
今しかない…ッ!

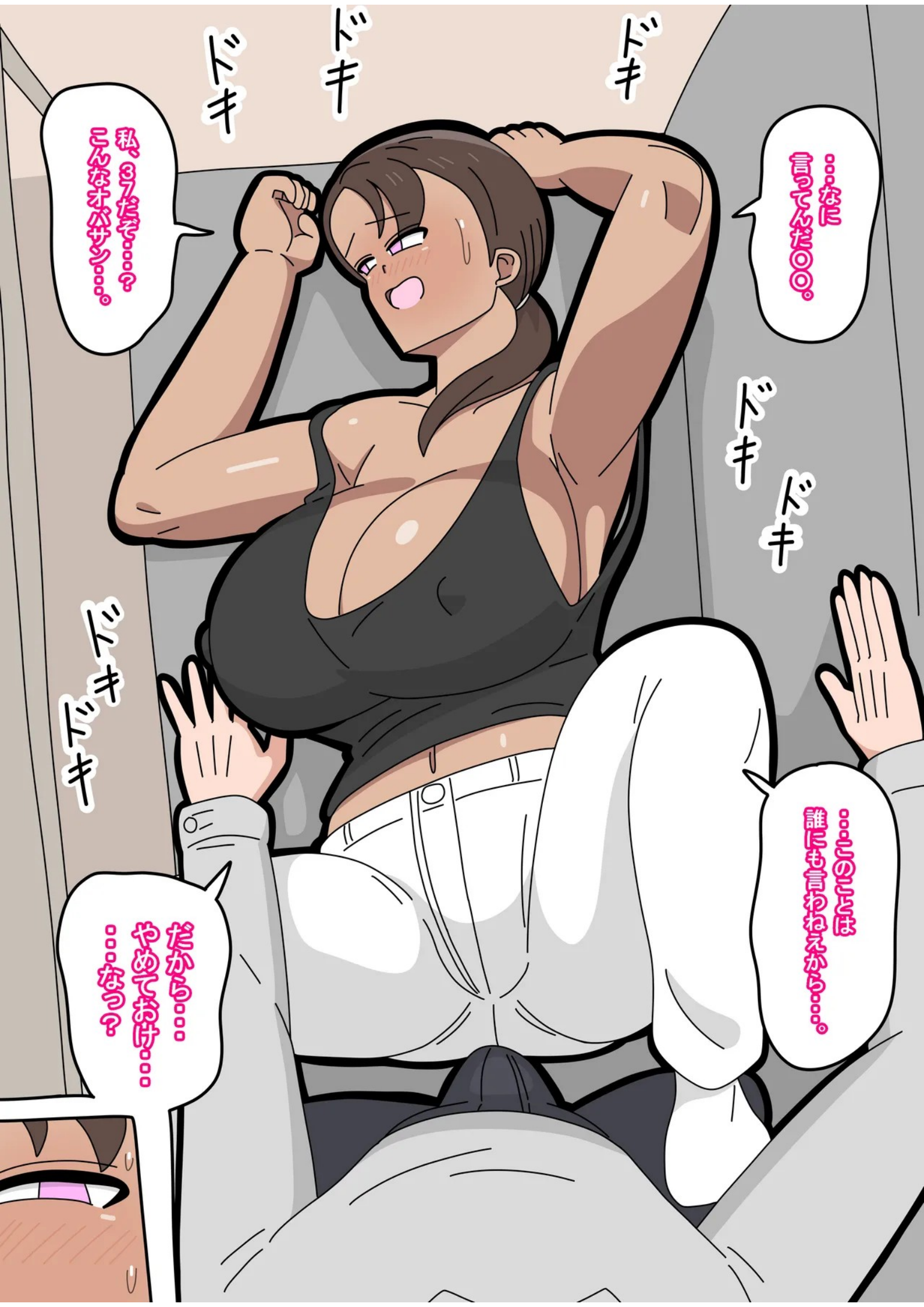
○○?
ど…どうした?



僕と
付き合ってください!

峰子さん…!
僕、ずっと…

峰子さんのことが
好きでした…ッ!



。。。なに
言ってるの。。。

ドキ
ドキ

。。。なに
誰にも言わねえから。。。

ドキ
ドキ
ドキ

私、おんなや。。。
こんなお公さん。。。

ドキ
ドキ

だから。。。
やめておけ。。。
。。。なっ。。。



い…

嫌です！
僕、ずっと峰子さんの
ことが好きだったし…

絶対に
峰子さんのこと
諦めたく
ないんです…ッ！

だぁ〜ッ!!!

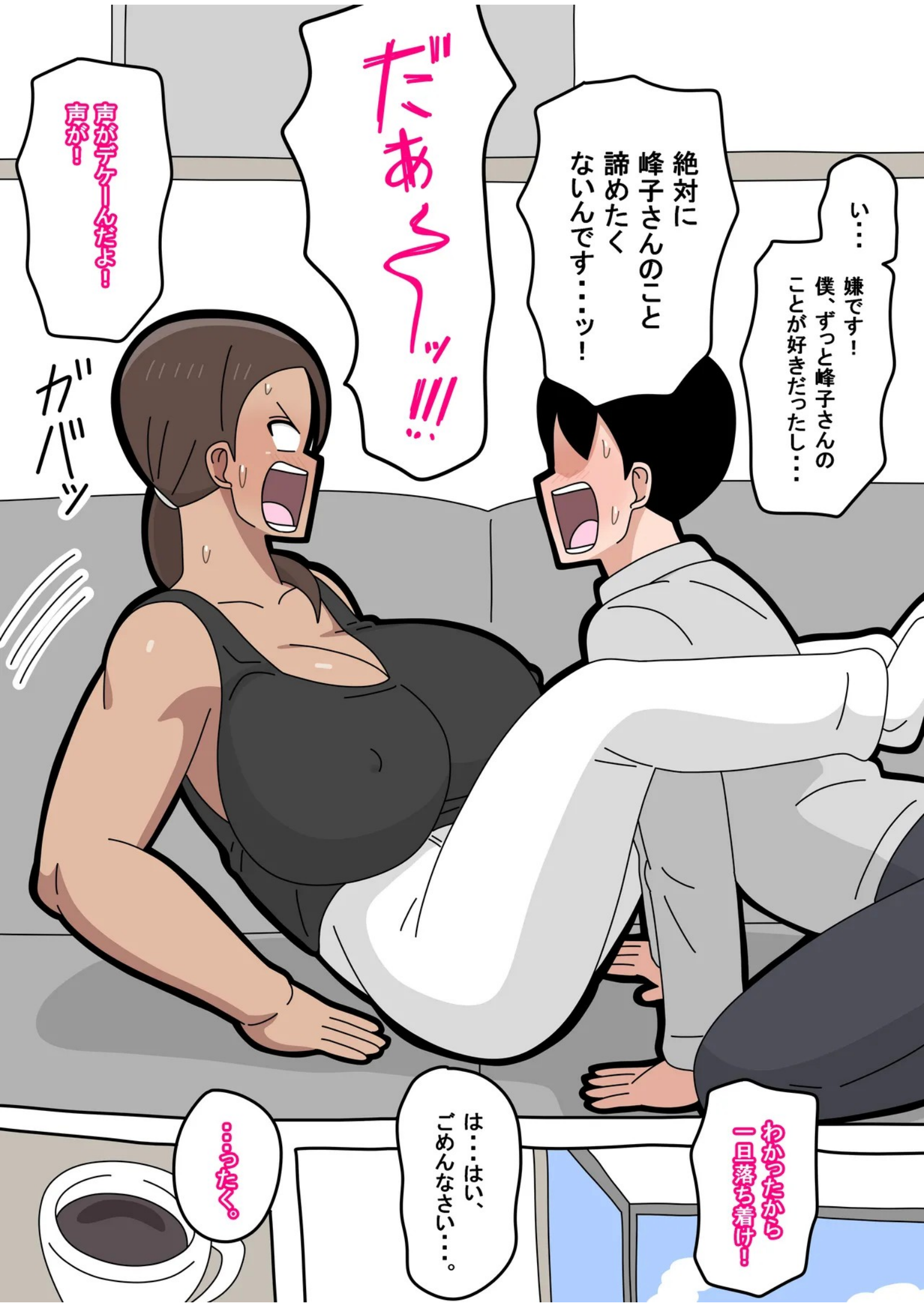
声がデケーんだよ！
声が！

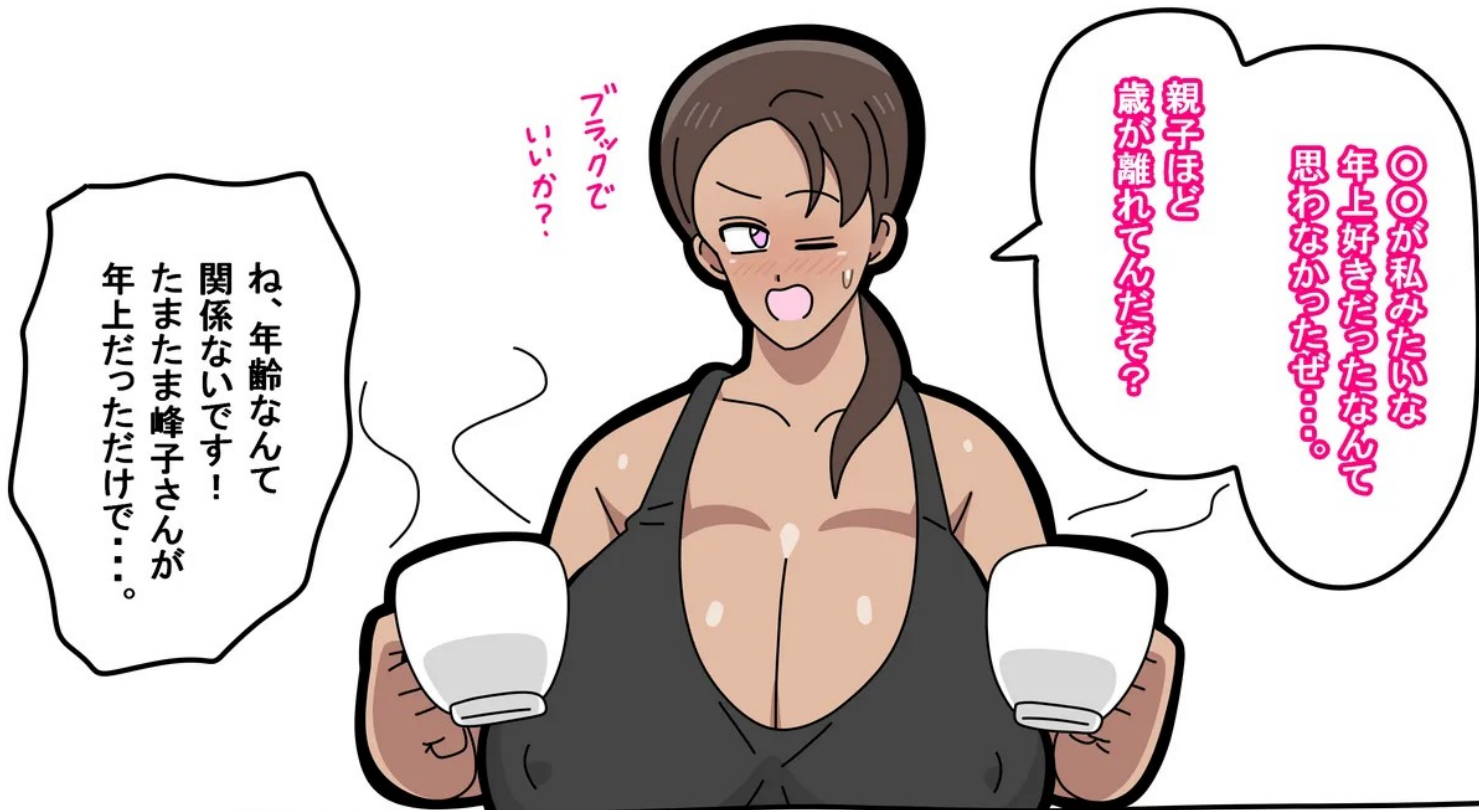
カバッ

わかったから
一旦落ち着け！

は…はい、
ごめんなさい…。

おったく。





〇〇が私みたいな
年上好きだったなんて
思わなかったぜ……。

親子ほど
歳が離れてんだぞ？

ブラッグで
いいが？

ね、年齢なんて
関係ないです！
たまたま峰子さんが
年上だっただけで……。



この日、僕は
峰子さんに告白をした。
峰子さんは僕を
突き放したりしようとは
しなかった。

そのあと、僕の両親が
海外に行ったことや、
今まで深く触れなかった
お互いのことを話し合った。

告白の返事に
期待と不安を
感じながら……。

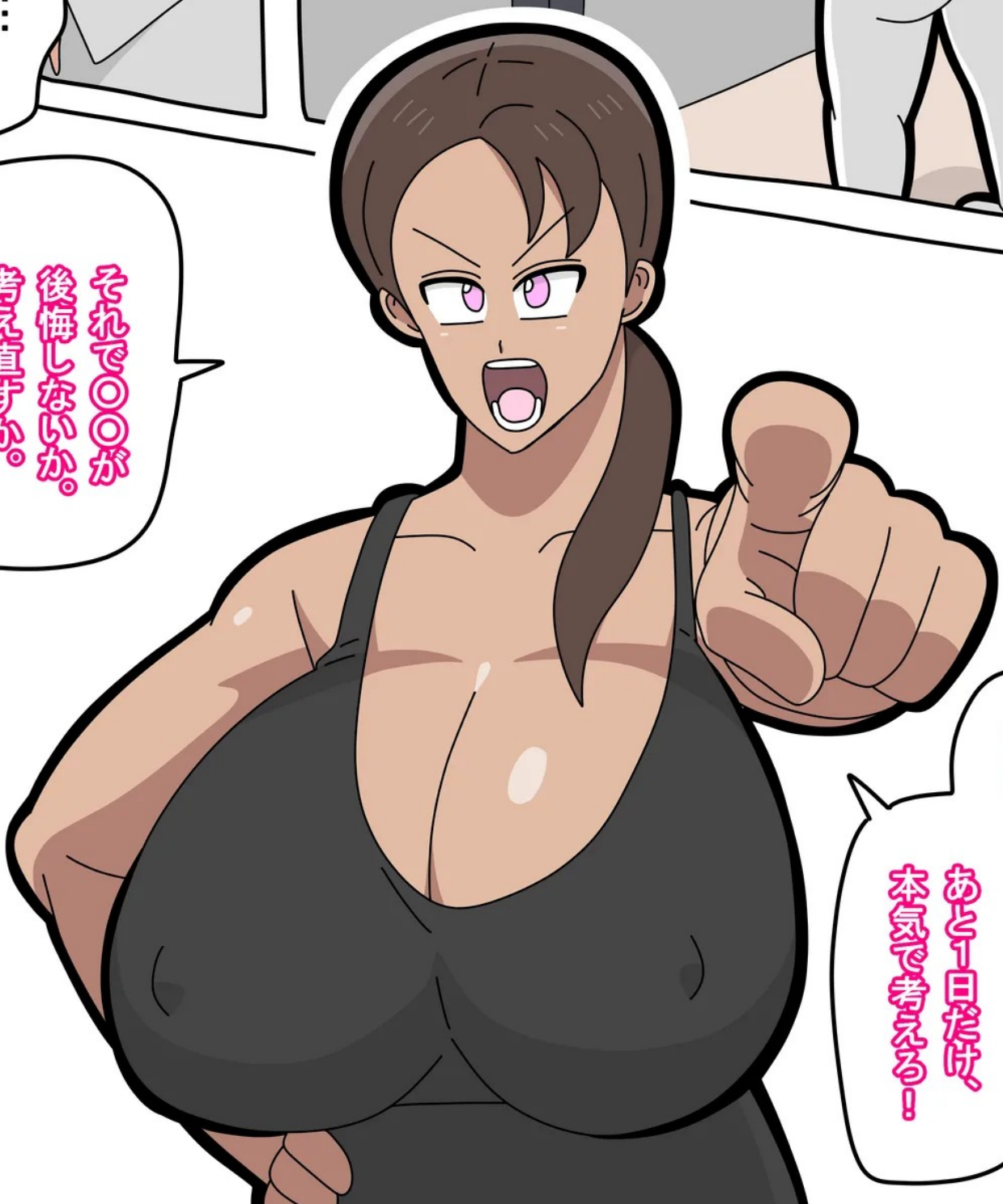


〇〇がいいのなら、
私の返事は
イエスだ。

み……
峰子さんッ

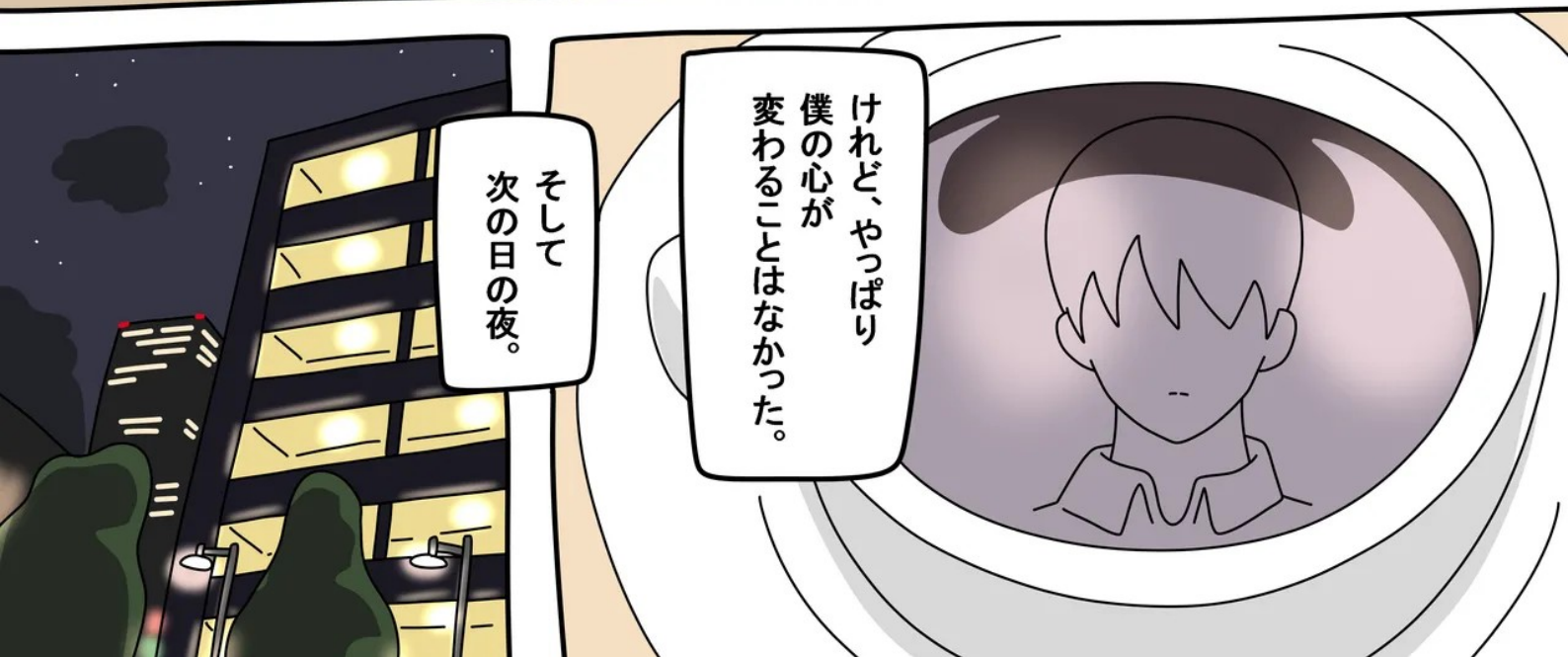
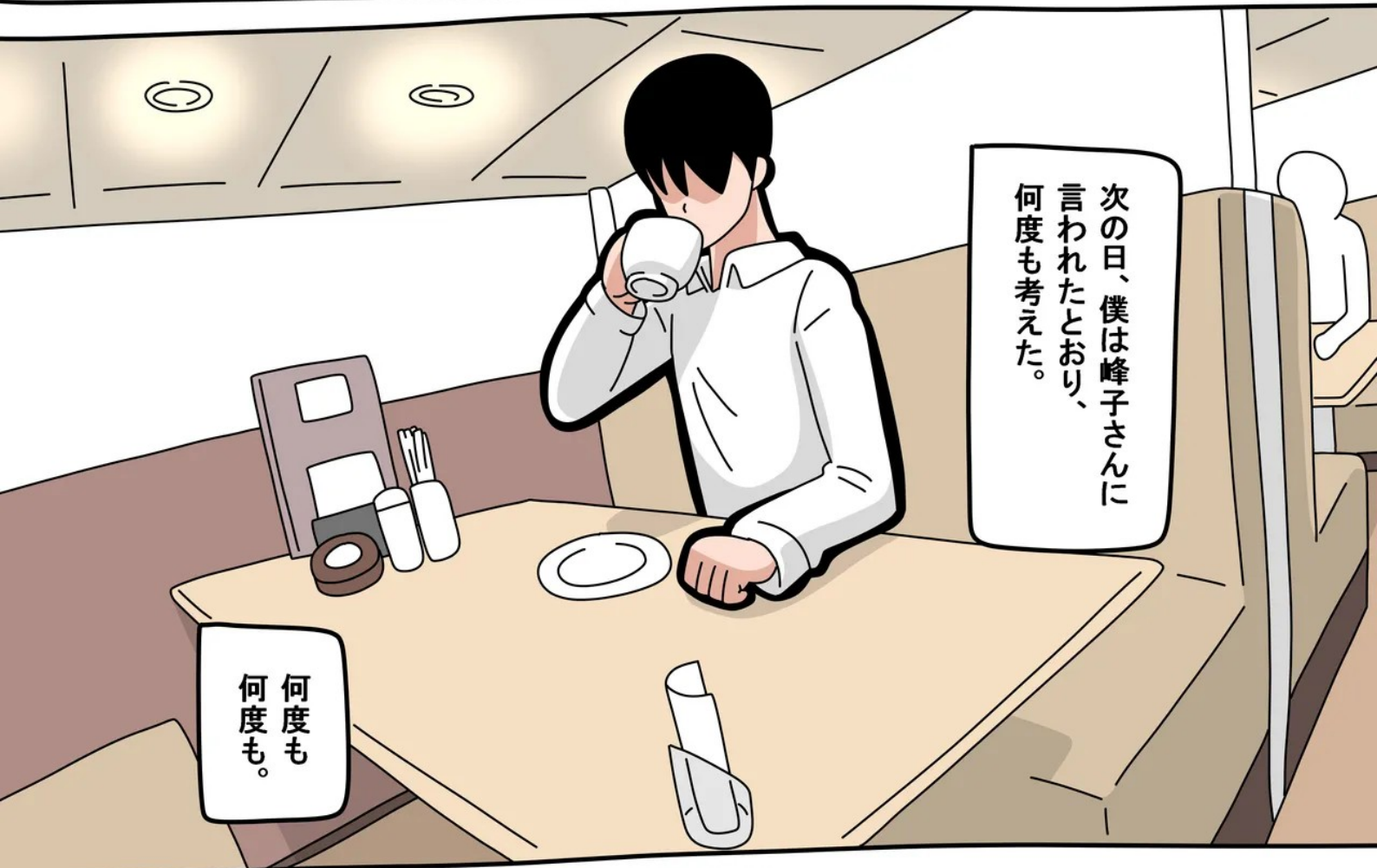
〇〇

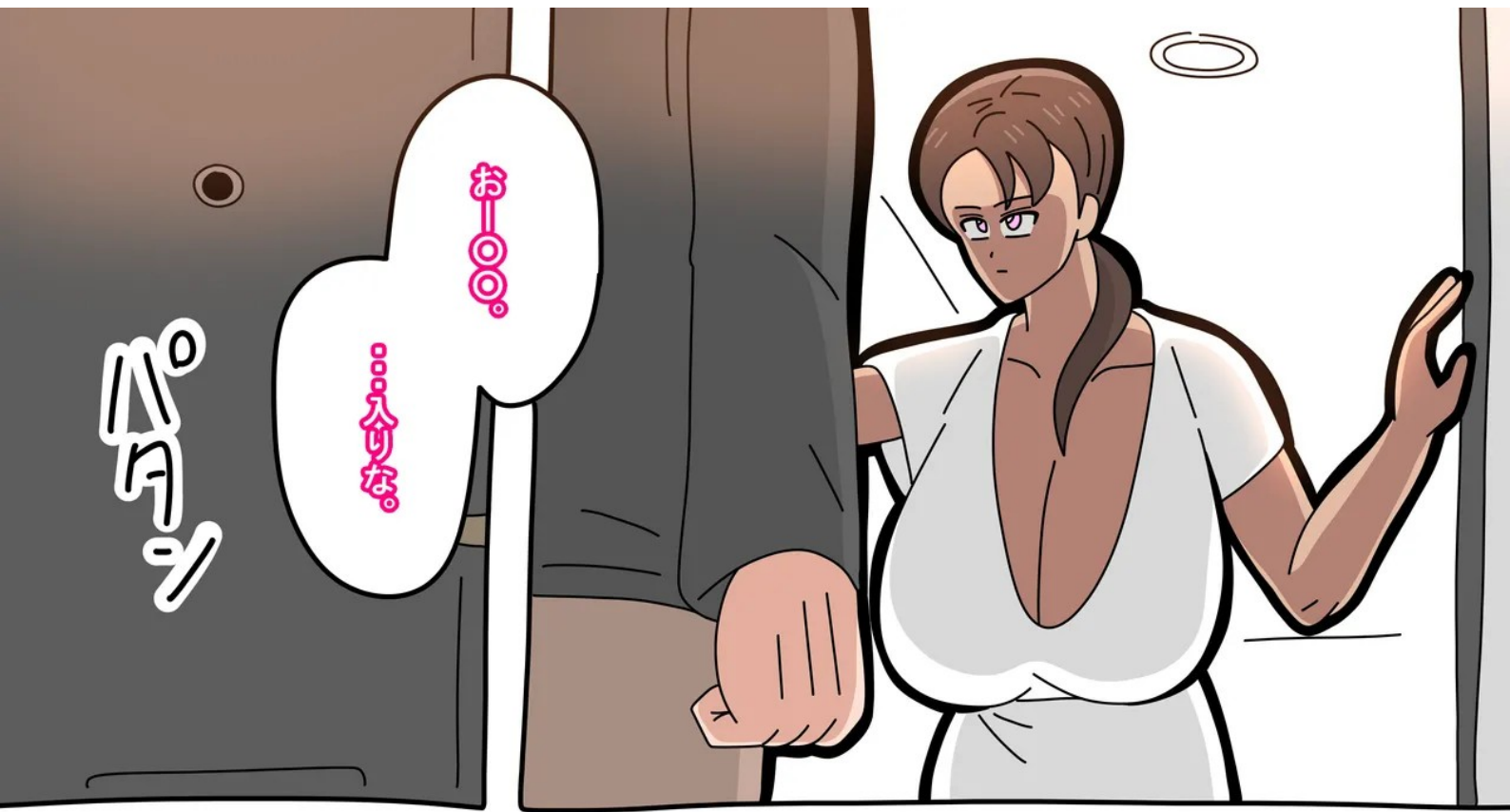
それで〇〇が
後悔しないか。
考え直すか。
……いいな？



ただし！

あと1日だけ、
本気で考える！

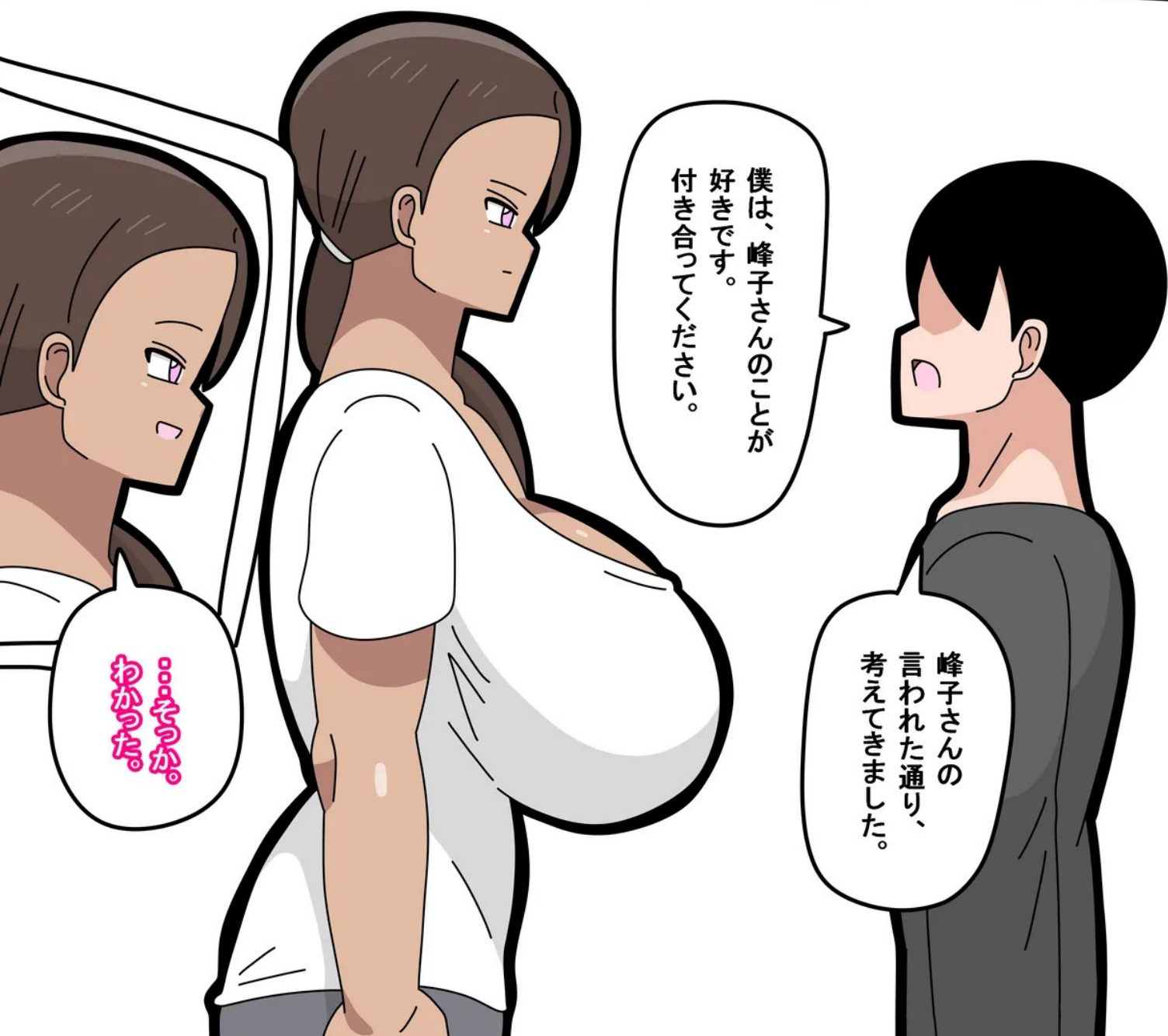




おー。

。。。入りな。

おー。



僕は、峰子さんのことが好きです。
付き合ってください。

峰子さんの
言われた通り、
考えてきました。

。。。そうか。
わかった。

なので
さっそく…

コンドーム
10個入り。

セックスしましょう！
峰子さん…ッ！

いきなり
飛ばし過ぎだッ！

もっと
ムードのある
誘い方があるだろ！

え、ダメ
でしたか？！

当たり前だろ…ッ！
まったく…

カクッ

わかった
わかった

私も今から
汗流してくるから
待ってな。

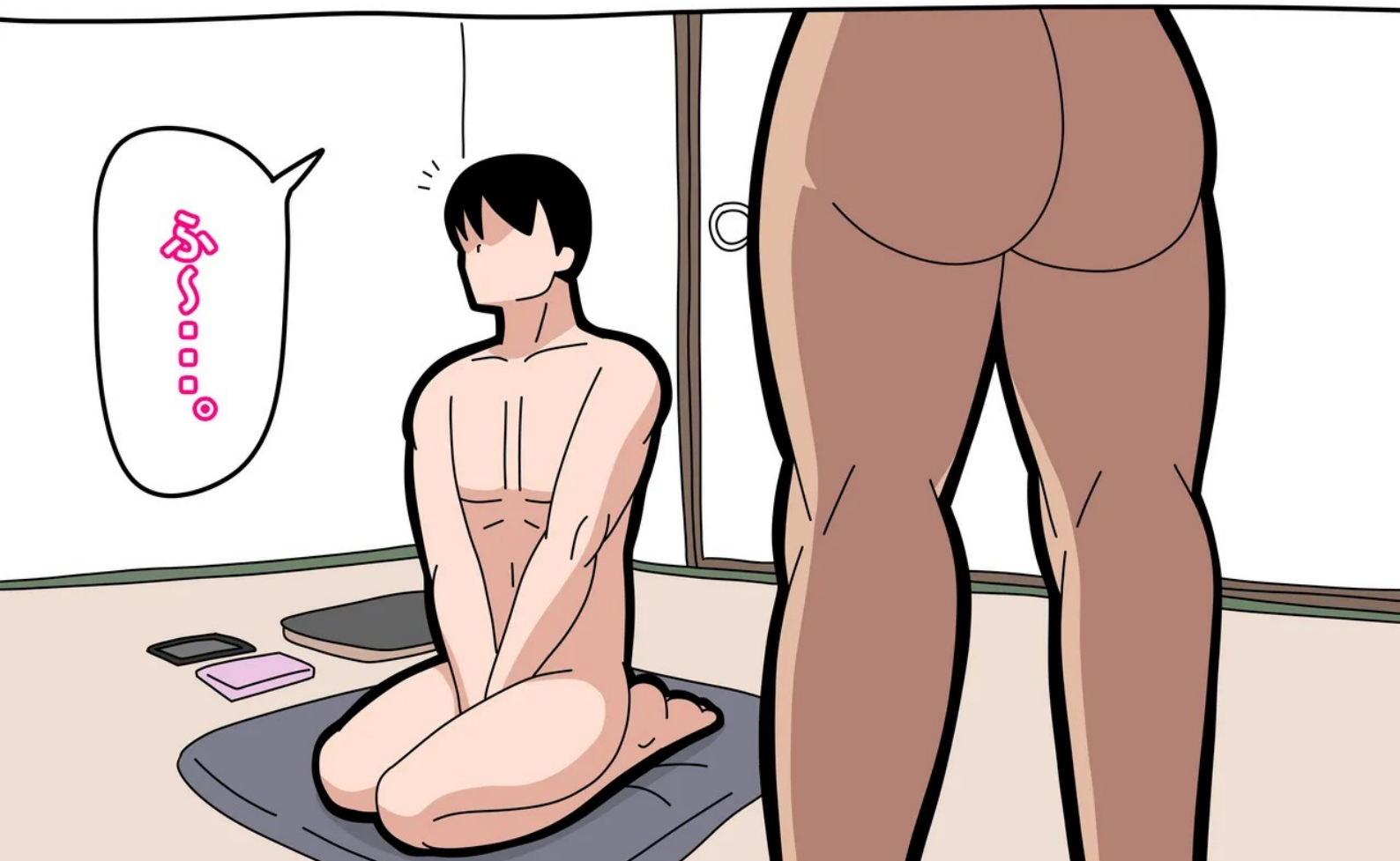
さっきお風呂に
入ったばかりだから、
準備もバッチリ
できてます！

ドス

ひいひい...

ドス

ドス





まったく……まさか今日
家で「する」なんて
思ってもみなかったよ……。

ん



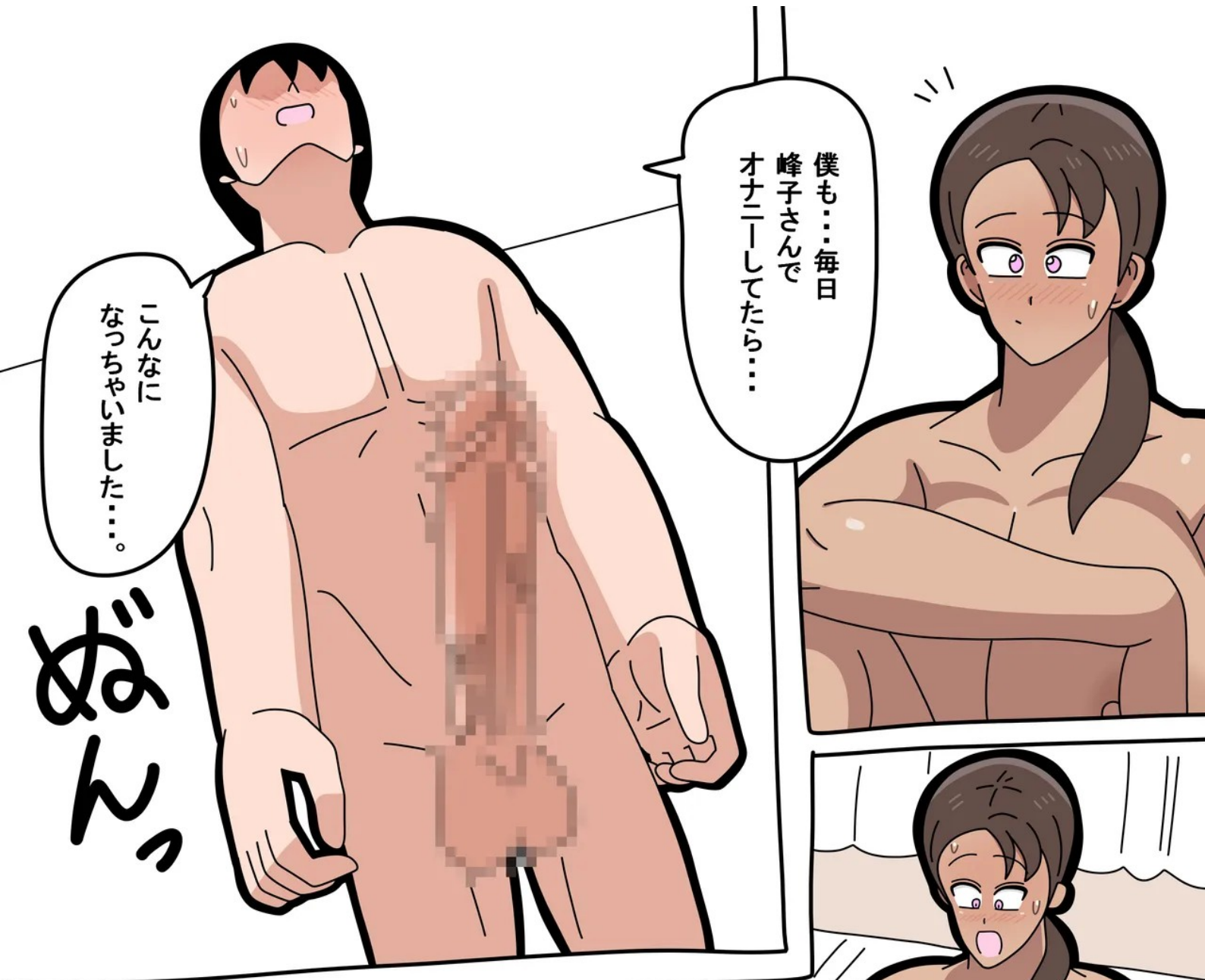
なうに隠してんだよ、
ここまできて
恥ずかしがってんのか？

いや...その、
いつも見てて思ってたけど...
やっぱり峰子さんの
体、凄いですね...

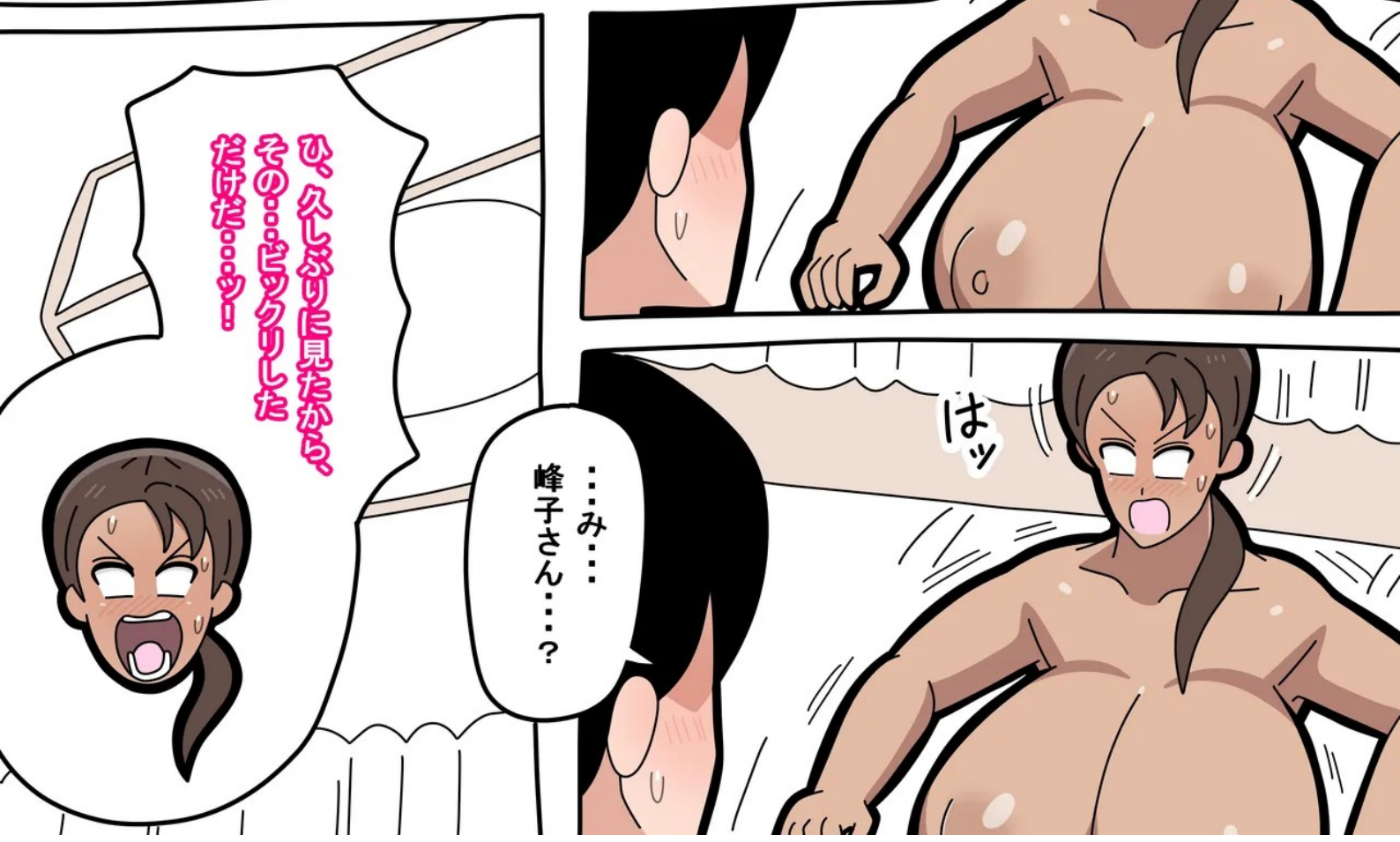
体力には
自信あるんだぜ？

ま、娘が産まれたあとは
力仕事しまくってたのも
あるからな。





ぬんっ





それじゃあ...
入れるね、
峰子さん

おおー!
くらげもくらげー!

ぽんぽん...!

ゆっくら...ッ

ズププ〜...

ジッ



はッ

はッ

?!!

ふ
〜
ッ
ふ
〜
ッ

ふッ

き……

き……

ズ
チ
ュ

気分持ちいい〜

はあ
あッ

ニ
ャ
ッ

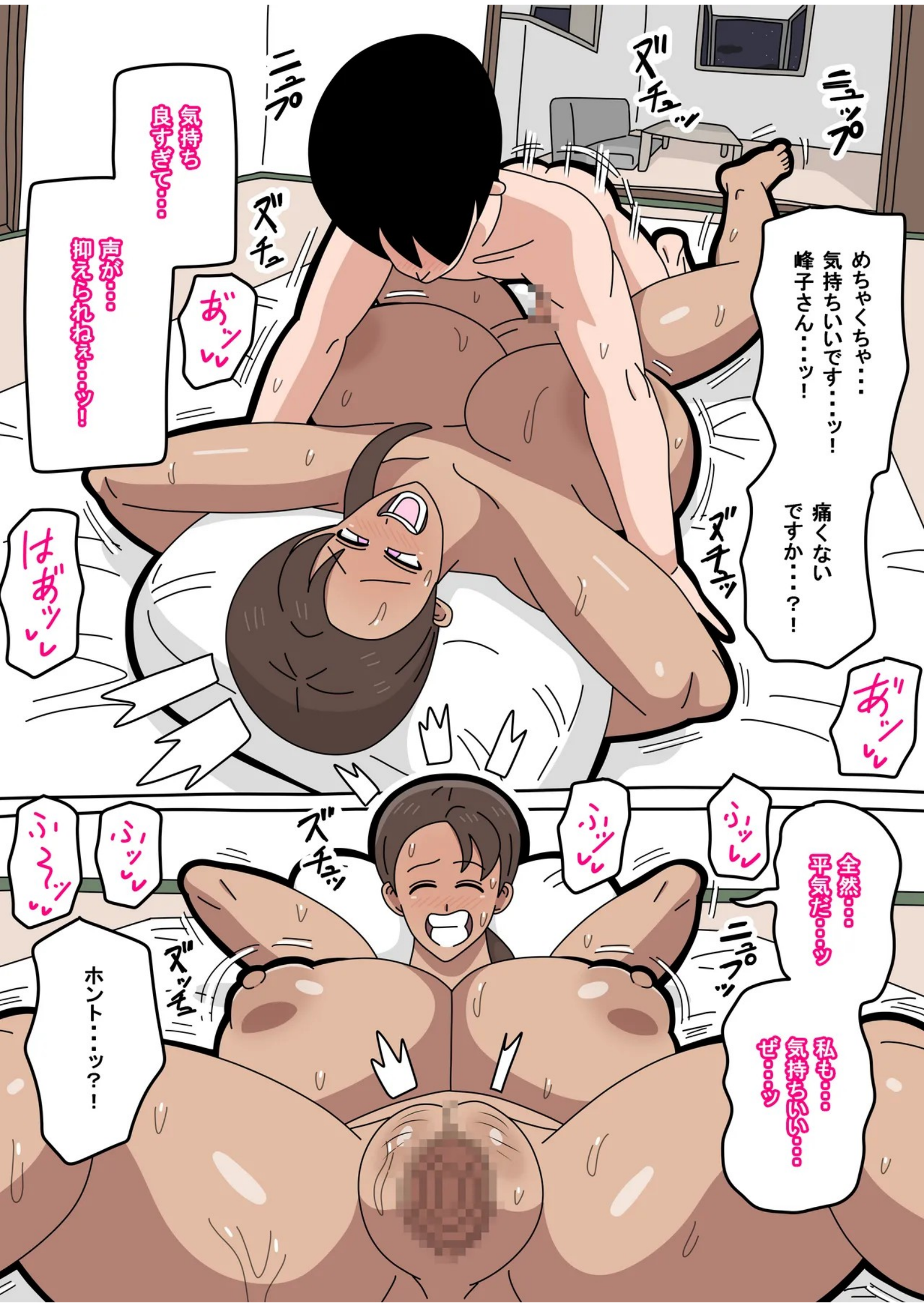
気持ちいい〜ッ!

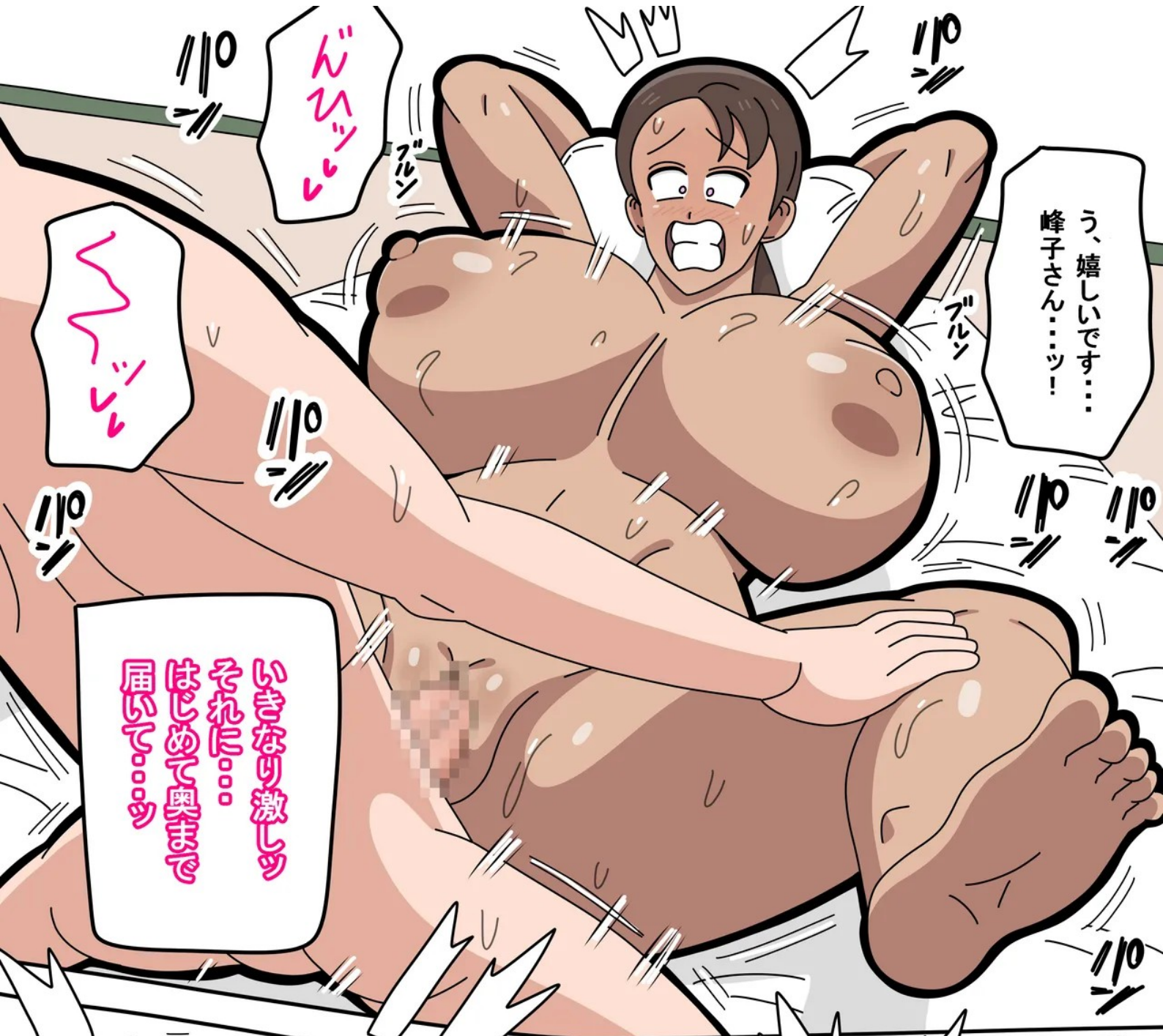
ズ
チ
ュ

ニ
ャ
ッ

あ
ッ
い

ズ
チ
ュ





う、嬉しいです…
峰子さん…ッ！

いっしょ

ブルン

ブルン

いっしょ

いっしょ

いっしょ

いっしょ

いっしょ

いきなり激しッ
それに…
はじめて奥まで
届いて…ッ



あがッ

あッ

ズチッ

ズチッ



あの峰子さんと…
セックスしてる…ッ！

峰子さんの
お〇んこ…
あったかくて、すごく
締めつけてくる…ッ！

あッレ

気持ち良すぎて、
ち〇こ溶けそう…ッ！

あッレ

ブルン

あッレ

あッレ

はあッレ

あッレ

あッレ

峰子さんも
気持ちよさそうで…
感じてくれて
嬉しい…ッ

峰子さん…
峰子さん…ッ！

ブルン

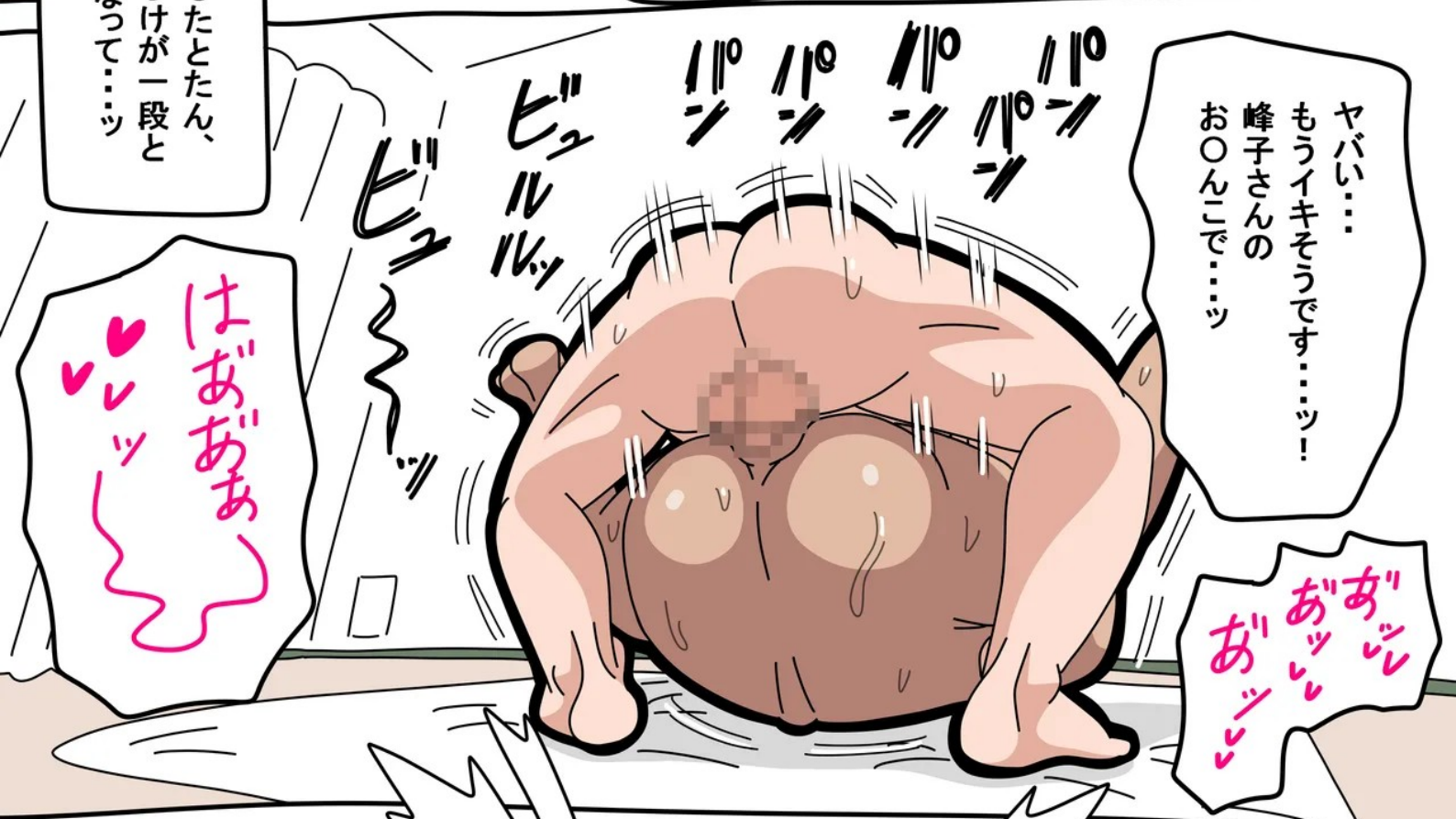
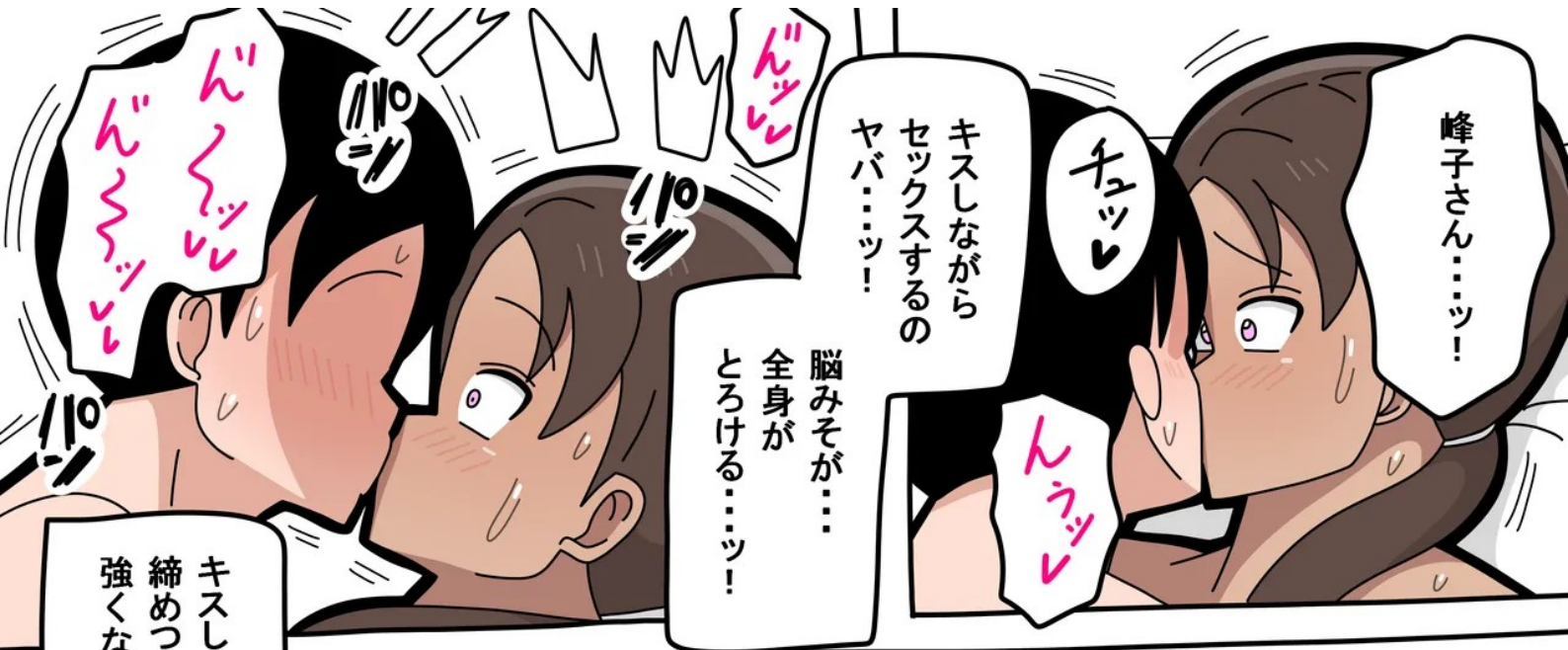
あッレ

あッレ

あッレ

あッレ

あッレ





はッレ

はッレ
はッレ
はッレ

しちゃった...
親子ほど
歳の離れた
男の子と...

おッレ

すごい...
こんなに出来ましたよ
峰子さん...!!

見せなぐ...
い...から...

はッ

はッ

はッ

峰子さん
恥ずかしがってる
...かわいいッ!

でも...

後悔は
していない。
それどころか...

あッ
あッ
あッ

だって...
峰子さんの
おんこも
おっぱいも...

ムチムチな体も
全部、全部...ッ

あッ
あッ
あッ

あッ
あッ
あッ

ブルッ
ブルッ
ブルッ

あッ
あッ
あッ

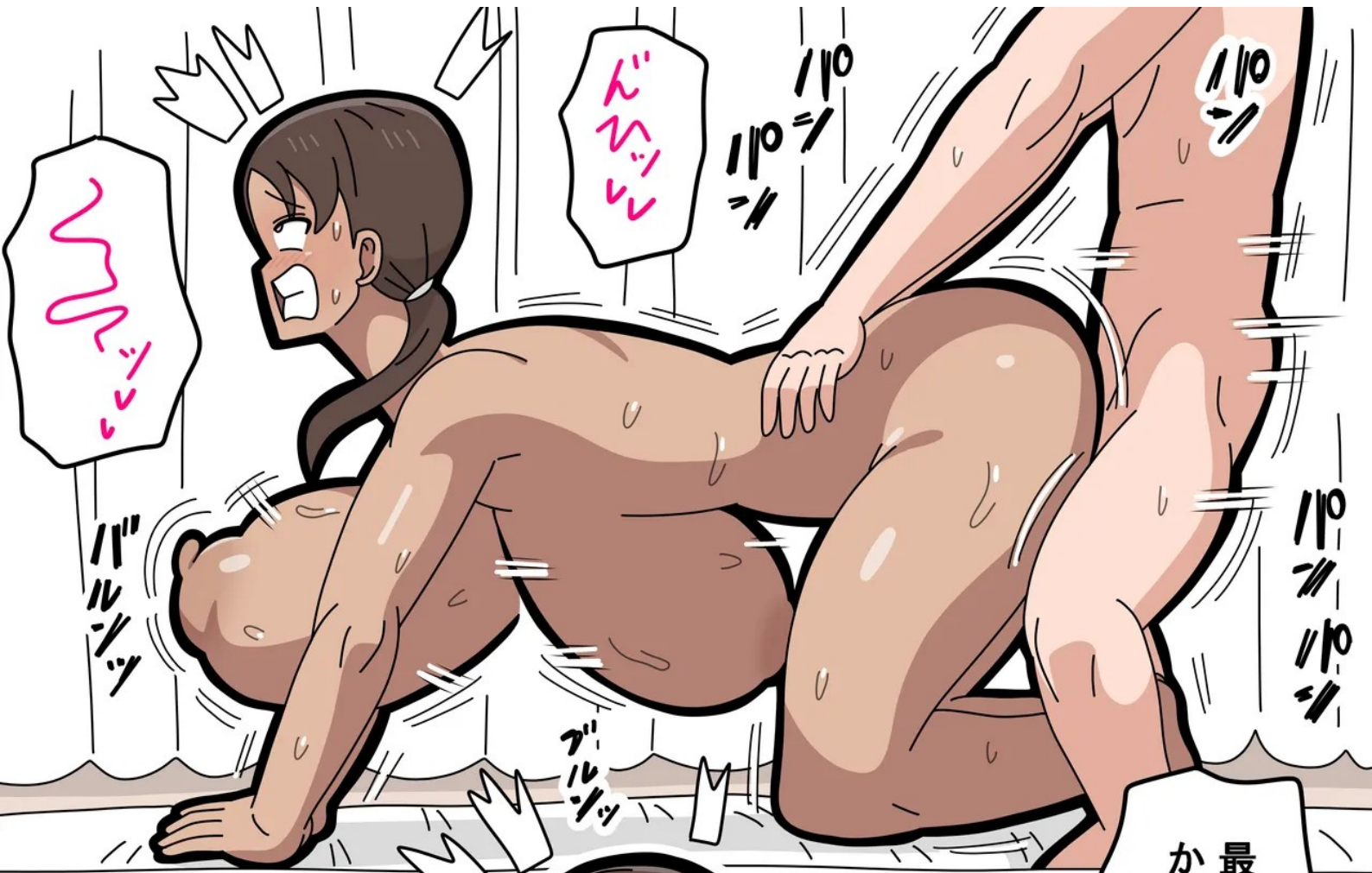
ガッ
ガッ
ガッ

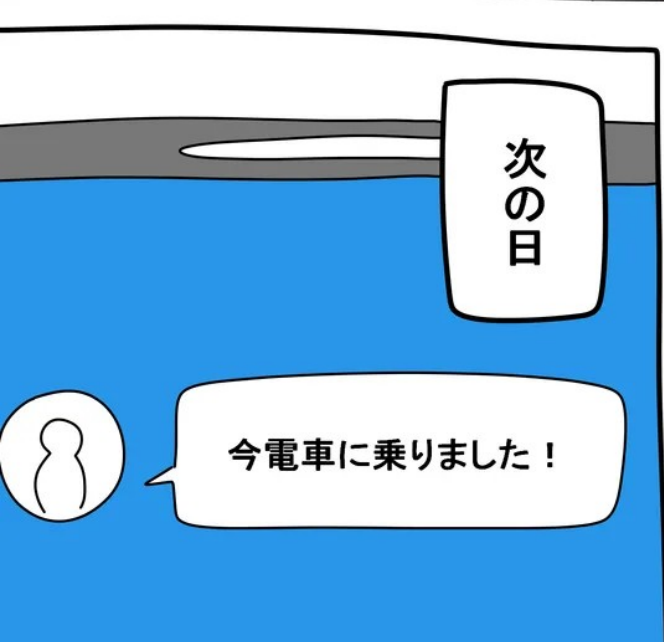
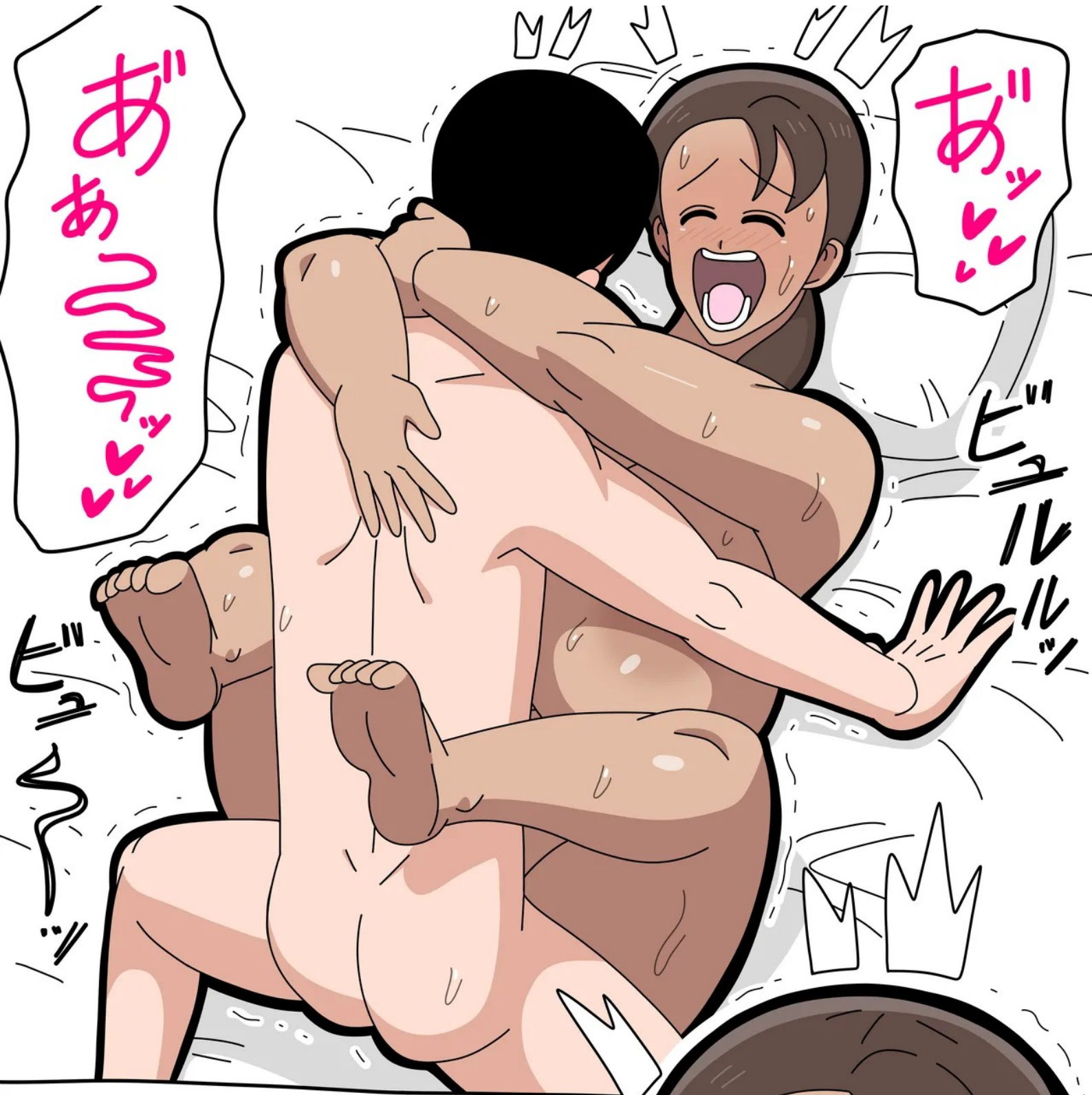
〇〇に選ばれたカマエデ
心の底から幸せを
感じてる...

あッ
あッ
あッ

2回目なの...
〇〇...
凄すぎる...







〇〇と
連絡先を交換した。

久しぶりだったのもあって
ちとハメを外し
過ぎたかな……。

まったく……
こんなオバサンに、
よくあんなに
興奮できるよなあ……。

ハタッ

タユン

昨日の夜

明日は大学だから、
もう寝ないと
いけないなんて……

3回もしたんだから、
もういいだろ……



おやすみなさい、
峰子さん……っ

また明日っ



おっっー

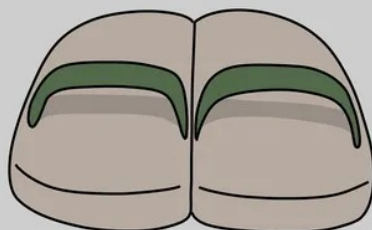
おやすみ
○○○

また
明日……っ



ハッ

ハッ



つづく



どうも、18マスターです。

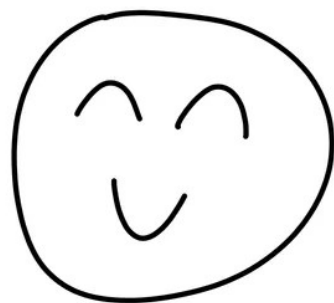
「となりの峰子さん 1」のご購入、
誠にありがとうございます。

2025年11月頃のパースや顔&体の描き方の模索作業
(その時の自分が納得するまで描き続ける作業)を経て、
2025年の12月半ば頃から今回の同人作品を
描き始めました。

現在、諸事情により自分の同人作品の宣伝が
某イラスト投稿サイトでしかできないという
強制的にゲームのハードモードをさせられている
ような状況にも関わらず、
18マスターを見つけてくれたり、応援してくださったり、
そして、

作品を購入して見てくれる方々には、
本当に感謝しております。

これからも何卒、18マスターをよろしくお願い致します。



by 18マスター